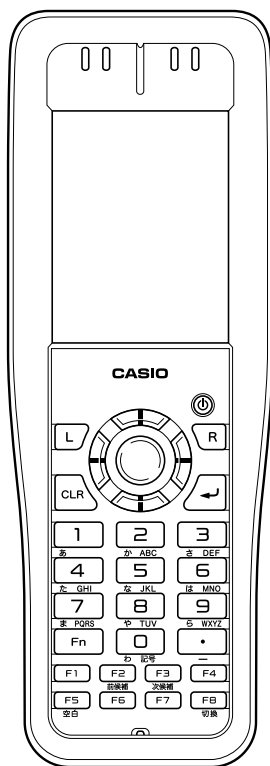
J

CASIO®

データコレクションターミナル
DT-X8シリーズ

取扱説明書

・この取扱説明書は、本機の基本的なご使用方法および取り扱いについて説明してありますのでご使用前にひと通りお読みください。
・ご使用の前に「安全上のご注意」をお読みの上、正しくお使いください。
本書はお読みになった後も大切に保管してください。
・保証書の記入を確認の上、取扱説明書とともに大切に保管してください。

Bluetooth®

BLUETOOTHは、Bluetooth SIG, Inc., U.S.Aが所有する登録商標で、カシオ計算機はライセンスを取得しています。

Microsoft, Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

FeliCaはソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。

目次

安全上のご注意

このたびは、カシオ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

・ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

・本書は、お読みになった後も大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⃠ 記号は「してはいけないこと」を意味しています。（左の例は分解禁止）

● 記号は「しなければならないこと」を意味しています。（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

使用上のご注意

⚠ 警告

■分解・改造しないでください

分解禁止

●本機を分解・改造しないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。また、高温になる部分がありやけどの原因となります。

■異常状態で使用しないでください

注意

●万一、発熱していたり、煙が出ている、異臭がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、購入先またはカシオテクノ・PAリペアセンターにご連絡ください。

■異物が中に入ったときは

注意

●万一、異物が本機の内部に入った場合は、電源を切り、購入先またはカシオテクノ・PAリペアセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■破損したときは

注意

●万一、本機を破損した場合は、電源を切り、購入先またはカシオテクノ・PAリペアセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■水などがかからないようにしてください

禁止

●DT-X8は防水仕様ですが、オプションのUSB通信充電アダプタ、I/Oボックスやデュアル充電器等は防水仕様ではありませんので、水などがかからないようにしてください。
また、DT-X8を濡れた状態で装着しないでください。水がこぼれたり中に入った場合、火災・感電の原因となります。

⚠ 警告

■レーザ光をのぞき込まないでください

●本機は、レーザ光でスキャンします。
レーザ光を直接見たり、目にあてたりすることは絶対に避けてください。

■引火性ガスが発生する場所では

●ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前にハンディターミナルの電源をお切りください。また充電もしないでください。ガスに引火するおそれがあります。

⚠ 注意

■異物が入らないようにしてください

●内部に金属物や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。

■設置場所について

●ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
●炎天下の車中に長時間放置しないでください。

■本機の上に重いものを置かないでください

●重いものを置くと、置いたものがバランスをくずして倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■表示画面の取り扱いについて

●タッチスパネルを強く押したり、強い衝撃を与えないでください。タッチパネルや液晶パネルが割れてけがの原因となることがあります。
●液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となることがあります。
・万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
・目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

無線通信機能の取り扱いについて

⚠ 警告

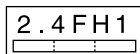
■他の電子機器への干渉について（無線機能を使用する場合）

- 病院内や医療用電気機器のある場所での使用に際しては各医療機関の指示に従ってください。特に手術室、集中治療室、冠状動脈疾患監視病室や特に医療機関側が本機の使用を禁止した区域では、本機の無線通信機能をOFFにするか本製品の電源を切ってください。
  電波により医療用電気機器に影響を及ぼすことがあります。
- 心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離してください。電波によりペースメーカーの作動に影響を及ぼすことがあります。
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があるので、無線通信機能をOFFにするか本製品の電源を切ってください。電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。
- 各航空会社では、航空機の飛行状態などに応じて、機内での無線機器、電子機器の使用を禁止しております。航空機内では無線通信機能をOFFにしてください。電子機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。

⚠ 注意

■他の電子機器への干渉について（無線機能を使用する場合）

本機は小電力データ通信システムの無線装置を内蔵しております。
使用している周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の使用を停止してください。
- その他、電波干渉が発生した場合などお困りのことが起きたときは、「商品についてのご相談」に記載されている連絡先までお問い合わせください。

2.4FH1 — この無線機は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10mです。

2.4DS/OF4 — この無線機は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SSおよびOFDM方式を採用し、与干渉距離は40mです。

リチウムイオン充電池パックについて

⚠ 危険

禁止

- 充電池パックを水や海水などにつけたり、濡らしたりしないでください。充電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電池パックを火のそば、ストーブのそばなどの高温の場所で使用したり、放置したりしないでください。充電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電池パックは指定された機器以外で使わないでください。指定機器以外の用途に使うと、充電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電池パックはプラス・マイナスの向きが決められています。充電器や機器に取り付けるときはプラス・マイナスを逆に接続しないでください。プラス・マイナスを逆に接続すると、充電池パックが漏液、発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電池パックを火の中に投入したり、加熱したりしないでください。充電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電池パックの⊕と⊖端子を針金などでショートさせないでください。充電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電池パックを金属製のネックレスやヘヤピンなどと一緒に持ち運んだり､保管したりしないでください｡金属類が端子に触れてショートすると､充電池パックが発熱､破裂､発火する原因となります｡充電池パックを持ち運ぶときや保管するときは､充電池パックに付属のソフトケースを取り付けてください｡
- 充電池パックに強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。充電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電池パックに釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。充電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電池パックを分解したり、改造したりしないでください。充電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。

注意

- 充電池パックの充電は専用充電器を使用してください。他の充電器で充電すると、充電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。

⚠ 警告

禁止

- 充電池パックを電子レンジや高圧容器に入れたりしないでください。充電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電池パックから異臭がする、発熱、変色、変形している場合は使用しないでください。そのまま使用すると、充電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。

注意

- 充電池パックの使用時間が今までより著しく短くなった場合は、充電池パックの異常の可能性がありますので使用を中止してください。この異常な充電池パックを充電すると、充電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 所定の時間を超えても充電が完了しない場合は充電を中止してください。そのまま充電を続けると、充電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電池パックから液がもれていたり、異臭がする場合は火気から遠ざけてください。引火して充電池パックを破裂、発火させる原因となります。
- 充電池パックからもれた液が目に入ったときは、こすらずに、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗った後、ただちに医師の診断を受けてください。

⚠ 注意

禁止

- 充電池パックを直射日光の当たるところや炎天下の車内など高温のところで使用したり、放置したりしないでください。充電池パックを発熱、発火させる原因となります。また、充電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
- 静電気の発生する場所で充電池パックを使わないでください。充電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。

注意

- 充電池パックからもれた液が皮膚や衣服に付着した場合は、すぐに水道水などのきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。
- 充電池パックは小さなお子さまの手の届かないところに保管してください。また、使用中は小さなお子さまが充電器や使用機器から取りはずさないようご注意ください。

AC電源の使用について

⚠ 警告

- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。火災・感電の原因となります。
- 電源コード(特にプラグ部分)、ACアダプタ(特にプラグやジャック部分)の清掃には洗剤を使用しないでください。

- 必ず専用ACアダプタをお使いください。専用品以外のACアダプタを使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、購入先またはカシオテクノ・PAリペアセンターに修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

- 電源コードをストーブなどの熱器具に近づけないでください。
  コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります(必ずプラグを持って抜いてください)。
- 濡れた手で電源プラグに触れないでください。感電の原因となることがあります。

- 移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 使用後は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

ACアダプタについて

⚠ 注意

● ケース表面が、ある程度の熱を出すので、注意してください。

● 感電に、注意してください。

● ACアダプタは年に1回以上コンセントから抜き、プラグの刃と刃の周辺部を清掃してください。

ACアダプタにほこりがたまると、湯気などで絶縁不良となり火災のおそれがあります。

重要なデータは控えをとっておいてください

⚠ 注意

● 本機を使用したことおよび故障／修理や電池消耗などにより、データが消えたり、変化したことで生じた損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても、当社ではその責任を負えません。あらかじめご了承ください。

● 本機は、電子メモリを使用しているため、電池が消耗したまま放置したり、電池交換の仕方を誤ったりして一定の電源が供給できなくなると、データが消えたり変化することがあります。失ったデータを修復することはできませんので、大切なデータは必ず控えをとっておいてください。

使用上のご注意

本機は精密機器です。使いかたを誤ったり乱暴に扱うと、データが正常に保存できなくなったり故障することがあります。次の注意をよくお読みのうえ、正しくお取り扱いください。

●電池が消耗した状態で使い続けないでください。

データが消えたり変化することがあります。電池が消耗したら、すぐに電池を充電してください。

●消耗した電池を入れたまま、長時間放置しないでください。

電池が液漏れすることがあります。液漏れは本機の故障、破損の原因になることがあります。

●各機種の使用温度の範囲内でご使用ください。

範囲外で使用すると故障の原因となります。

●次のような場所での使用は避けてください。

本機の故障、破損の原因になります。

- 静電気が発生しやすいところ
- 極端に高温または低温のところ
- 湿度の高いところ
- 急激な温度変化が起こるところ
- ほこりの多いところ

●タッチパネルやリセットボタンは、必ず専用のペンで操作してください。

専用のペン以外で操作した場合は、タッチパネルが傷ついたり、動作上の障害が発生することがあります。

●本機の清掃に、シンナー、ベンジンや化粧品などの揮発性の薬剤を使わないでください。

本機が汚れたときは、乾いた布か中性洗剤に浸して固くしぼった布で拭いてください。

●DT-X8はJIS防水型に準拠しておりますが、次の点に十分ご注意の上ご使用ください。

- 多量の雨や結露によって水滴がついたときは、乾いた布などで十分に拭き取ってください。
- 雨中で長時間使用しないでください。
- 充電池パックカバーやmicroSDカードスロットカバーを確実に閉めてご使用ください。
- 雨中でタッチパネルやキーを強く押さないでください。

●液晶パネルについて

液晶パネルは、高精度な技術で作られており、有効画素は99.99%以上です。

点灯しない画素や常時点灯する画素が存在することがありますが、液晶パネルの特性で、故障ではありません。

●充電池パックについて

充電池パックには寿命があります。充電のしかたによっては、充電池パックの劣化が進み、容量が低下してご利用できる時間が短くなります。

充電池パックを長持ちさせるために、正しい充電方法でお使いください。

- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときはご使用前に必ず充電してください。
- 頻繁に充電を繰り返すと寿命が短くなります。残量が少なくなってから充電してください。
- 指定の温度範囲で充電してください。指定の温度範囲は機器により違います。取扱説明書を参照してください。範囲外での充電は電池を劣化させる原因になります。
- 低温環境でのご使用は、充電池パックの容量が低下しご使用できる時間が短くなります。また、充電池パックの寿命も短くなります。
- 充電池パックが冷えている状態での充電は電池を劣化させる原因になります。低温環境での作業後は、充電池パックを常温に戻して(１時間程度放置して)から充電してください。
- 充電しても機能が回復しない場合は寿命ですので、指定の新しい充電池パックと交換してください。
- 長期間保存する場合は充電池パックが満充電の状態で保存しないでください。長期間保存するときは、電池残量が30 ～ 50%の状態で、低温下で保存してください。電池の劣化が少なくなります。
- 充電池の劣化は、時間の経過でも進行します。特に、満充電状態での高温保存(使用)は、短期間での劣化を招くことがあります。

防水／防塵性能について

DT-X 8 シリーズは、防水／防塵性能を備えています。

- 防水性能：IEC規格で定めるIPX7等級(常温で水道水、かつ静水の水深1mの所に30分間放置)相当の性能を有します。
- 防塵性能：IEC規格で定めるIP6X等級相当の性能を有します。

> IP (Ingress Protection) は、IEC (International Electrotechnical Commissionの略)の60529に記載された電気製品の防滴・防塵のための基準です。IECは、国立電気工学の委員会(IEC National Committees)をすべて含む標準化のための世界的な組織です。

■ 重要

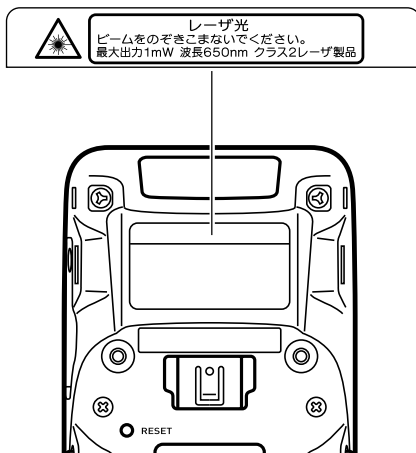
本製品の防水／防塵性能は、当社試験方法によるものです。また、本性能は出荷時(お客様への到着時)のものであり、ご使用中のユーザー環境を含めて保証するものではありません。万が一、ご使用中に浸水が発生しても保証の対象とはしておりませんので、雨中でのご使用等に関しましては、他の電気製品同様に、十分ご注意ください。

●使用上のご注意

- 充電池パックカバーおよびmicroSDカードスロットカバーと、その接触面に、ゴミ、砂などの異物が付着していないことを確認し、異物が付着している場合は清潔で乾燥した柔らかい布で取り除いてください。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本、砂粒１個等)がわずかでもはさまると浸水の原因になります。
- 充電池パックカバーおよびmicroSDカードスロットカバーの防水パッキンにひび割れ、キズ等がないことを確認してください。
- 充電池パックカバーのロックスイッチは、カチッと音がするまでしっかり閉じてください。
- 水辺や潮風のあたる場所での充電池パックカバーおよびmicroSDカードスロットカバーの開け閉め、および濡れた手での開け閉めは避けてください。
- 本製品を落としたり、指定された温度範囲外に放置しないでください。防水性能が劣化します。

●その他のご注意

- 本製品の付属品、オプション品(充電池パックなど)は、防水性能はありません。
- 本製品に極度な衝撃が加わると、防水性能を保てない場合があります。
- 取り扱い上の不注意により、万一、水濡れ事故を起こした場合、内部機材(充電池、記録メディアなど)の損害、記録内容、および記録に要した諸費用などの補償はご容赦願います。
- カシオ計算機は、水濡れによって発生する事故につき、その他一切の責任を負いかねます。

警告ラベルについて

- このラベルはJIS C 6802に準じた、クラス2レーザー製品の警告ラベルです。
- クラス2レーザー光は瞬間露光ですが、ビーム光を直接のぞき込むことは、絶対に避けてください。
- 本書に規定された内容以外の手順による取り扱いは危険ですので絶対に行わないでください。
- レーザー光は最大出力1mW未満、波長650nmです。

はじめに

- 本書の内容に関しては、将来仕様改良などにより予告なしに変更することがあります。
- 本書の使用による損害および不利益などにつきましては弊社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたらご連絡ください。
- 本書では、本機のプログラミング方法、ダウンロード方法などは記載いたしておりませんので、ダウンロードなどに関しては、別資料をご覧ください。

保証およびサービスについて

- 保証書は製品に添付しておりますので、記載内容をご確認のうえ大切に保管してください。保証書に「品名」「保証期間（購入日）」「購入先名」などの所定事項が記入されていないと無効となり、無償修理などを受けることができません。もし記入されていないときはすぐにお買い上げの購入先に申し出て記入してください。
- 万一故障した場合は機種名およびお買い上げ日と故障内容をお買い上げの購入先までご連絡ください。
- 安心して機械をご使用いただけるように、購入時に「保守契約」を締結されることをお勧めいたします。

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

DT-X8-11J/21Jは、高周波利用設備の誘導式読み書き通信設備です。
総務省の型式指定を受けています。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

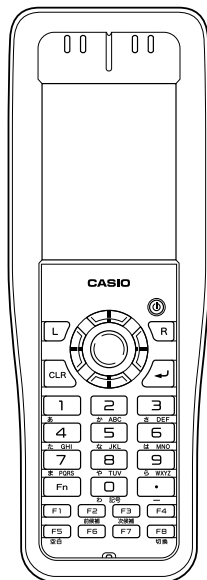
●本製品の使用済後の取扱について

「資源有効利用促進法」施行に伴い、カシオ計算機（株）では、地域環境保全と資源有効活用のために、お客様でご使用済みとなりましたパーソナルコンピュータを始めとする情報通信機器の回収・再資源化活動を行っております。
お客様からの廃棄処理依頼に対し回収いたしますので、弊社の環境保全活動にご協力いただきますようお願い申し上げます。
回収申込方法は、カシオホームページ【http://www.casio.co.jp】でご案内しております。

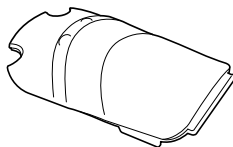
●本製品は二次電池を使用しております。交換後のリサイクルにご協力ください。

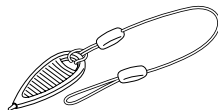
「資源有効利用促進法」施行に伴い、カシオ計算機（株）では、地球環境保全と資源有効活用のために、お客様でご使用済みとなりました二次電池の回収・再資源化活動を行っております。弊社の環境保全活動にご協力いただきますようお願い申し上げます。
回収については、カシオホームページ【http://www.casio.co.jp】でご案内しております。

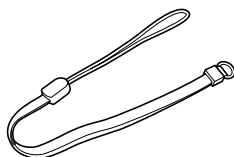
本機のシステム体系図

DT-X8シリーズ
（本体）

付属品一覧

本機をはじめてお使いになる前に、箱の中身を確認してください。

●充電池パック(L)カバー

本体には充電池パック(XL)カバーが装着されています。

●ペン（スタイラス）

ペンストラップが取り付けられています。

●ハンドストラップ

●取扱説明書(本書)

●保証書

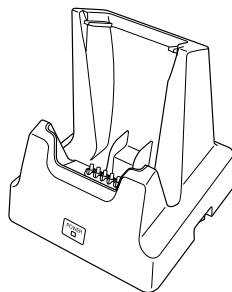
別売品一覧

I/O ボックス

HA-K60IO

LAN I/O ボックス

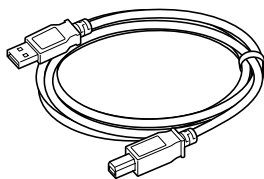
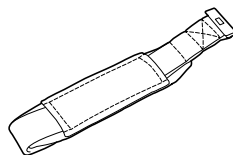
HA-K62IO

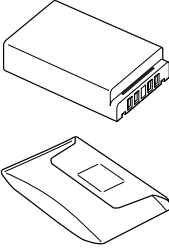
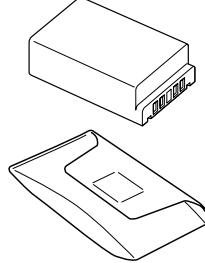
図はI/O ボックス(HA-K60IO)です。

USBケーブル

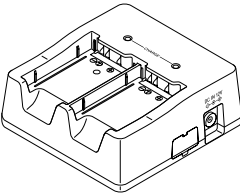
DT-380USB-A

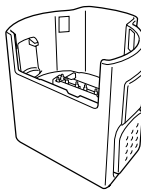
ハンドベルト

HA-K95HB

別売品一覧

充電池パック

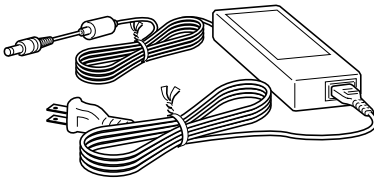
HA-K21LBAT
（充電池パック（L））

HA-K23XLBAT
（充電池パック（XL））

デュアル充電器

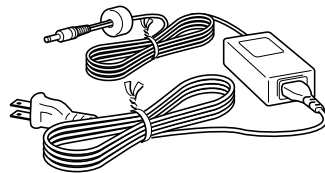
HA-F32DCHG

USB通信充電アダプタ

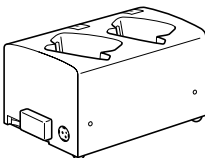
HA-K65US

液晶保護シート

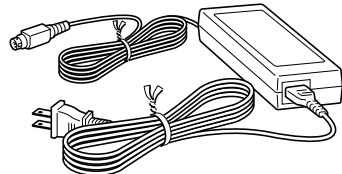
HA-K90PS5

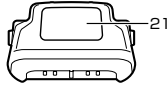
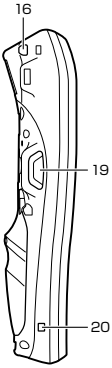
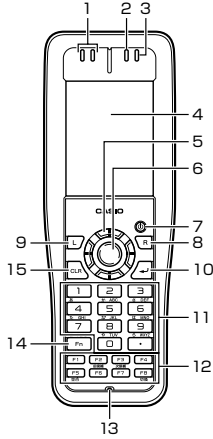
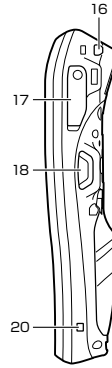
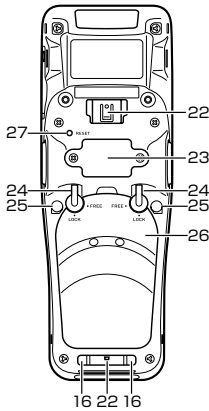
LAN I/O ボックス／デュアル充電器用ACアダプタ

AD-S42120B

I/O ボックス／USB通信充電アダプタ用ACアダプタ

AD-S15050B

集合充電器

HA-K36DCHG

集合充電器用ACアダプタ

AD-S90190C-JP

各部の名称とはたらき

<天面>

<左側面>

<正面>

<右側面>

<裏面>

<底面>

1	**スピーカ**	アラーム音など、各種音声が出力されます。
2	**インジケーター1**	オレンジ色点灯：充電中 緑色点灯：　　　充電完了 赤色点滅：　　　電池パックの異常または充電可能温度範囲外
3	**インジケーター2**	BT使用時は青色に、WLAN使用時はオレンジ色に点滅します。 バーコード読み取りエラー時は赤色に、正常に読み取れた時は緑色に点灯します。 アラーム機能は赤色に点灯します。 通信可能時はマゼンタ色が点滅します。
4	**画面**	文字や操作の指示などが表示されます。
5	**カーソルキー**	パソコンの上下左右キーと同等の働きをします。
6	**センタートリガーキー**	バーコードを読み取る操作をするキーです。 任意の機能を設定することも可能です。
7	**電源キー**	電源をON/OFFするキーです。
8	**Rキー**	任意の機能を設定することができます。
9	**Lキー**	任意の機能を設定することができます。
10	**決定キー**	数値入力の完了あるいは次のステップへ実行を移すときに押します。
11	**数値・ピリオドキー**	数値や小数点を入力するときに押します。
12	**ファンクションキー**	F1：パソコンのAltキーと同等の働きをします。 F2：おもにパソコンのShift+Tabキーと同等の働きをします。入力もしくは選択する項目の移動に使います。 F3：おもにパソコンのTabキーと同等の働きをします。入力もしくは選択する項目の移動に使います。 F4：なし F5：スペースを入力 F6：パソコンの左カーソルキーと同等の働きをします。 F7：パソコンの右カーソルキーと同等の働きをします。 F8：文字入力切替（数→ひらがな→カタカナ→アルファベット（大文字）→アルファベット（小文字））
13	**マイク**	音声を入力します。
14	**Fnキー**	置数キーと組み合わせて、各種の設定をするとき、また、あらかじめ登録されているアプリケーションを起動するときに使用します。
15	**CLRキー**	カーソルの左1文字を削除するときに押します。
16	**ストラップホール**	ハンドストラップを取り付けます。ハンドベルトを取り付けるときも使います。
17	**microSDカードスロット**	microSDカードを装着します。
18	**Rトリガーキー**	バーコードを読み取る操作をするキーです。
19	**Lトリガーキー**	バーコードを読み取る操作をするキーです。

20	USB通信充電 アダプタ取り付け部	別売のUSB通信充電アダプタに固定するときに使います。
21	バーコードおよびNFC 読み取り口	この窓からレーザー光やLEDが照射され、バーコードを読み取ります。 NFC利用時には、カードやタグをかざします。
22	ハンドベルト 取り付け部	ハンドベルトを取り付けます。
23	拡張ポート	将来の拡張用に用意されています。
24	充電池パックカバー ロックスイッチ	充電池パックカバーを開閉するときに回転させます。
25	I/Oボックス固定用 フック	別売のI/Oボックスに固定するときに使います。
26	充電池パックカバー	この中に充電池パックを装着します。
27	リセットスイッチ	リセットするときに押します。
28	給電／データ通信端子	I/OボックスやUSB通信充電アダプタとの通信／給電に使います。

充電池パックの取り付け／取り外し

本機では2種類の電池を使います。
本機の動作に使用するメイン電池とメモリ保護に使用するバックアップ電池があります。

メイン電池には、充電池パックを使います。使用できる充電池パックは2種類あり、充電池パック(L)(HA-K21LBAT)と充電池パック(XL)(HA-K23XLBAT)があります。

バックアップ電池は、本体に内蔵されています。

本書では使用する電池を次のように記載しています。

メイン電池：　動作用の充電池パックのこと
バックアップ電池：本体に内蔵されたメモリ保護用の電池のこと
充電池パック：　メイン電池として使用する、充電池パック(L)(HA-K21LBAT)と充電池パック(XL)(HA-K23XLBAT)の総称

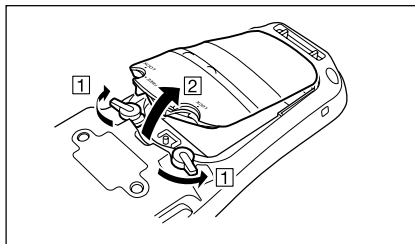
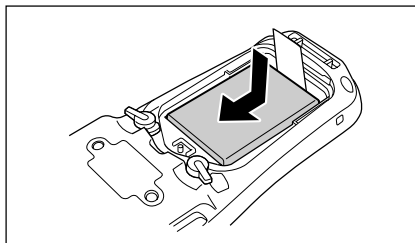
メイン電池が消耗したら、すみやかに充電を行うか充電済みの充電池パックに交換してください。
充電池パックは、I/O ボックス、LAN I/O ボックス、USB通信充電アダプタ、デュアル充電器、集合充電器を使用して充電できます。
充電方法は各機種の取り扱いのページを参照してください。

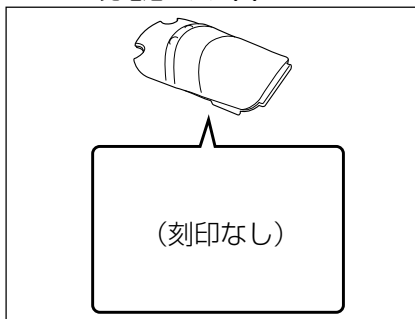
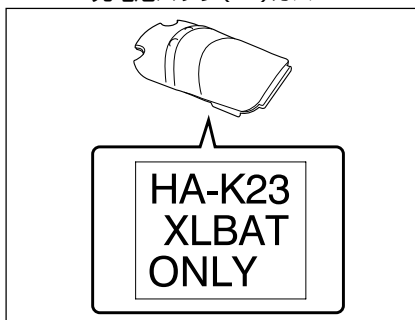
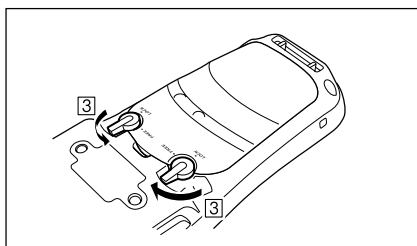
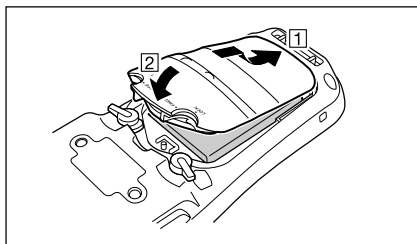
使用上のご注意

■重要なデータは控えをとっておいてください

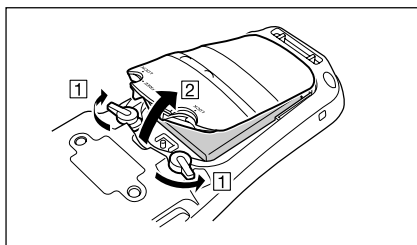
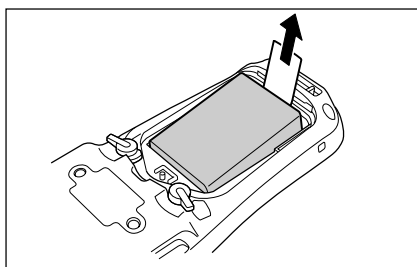
- メイン電池は動作用およびメモリ保護用の電源、バックアップ電池はメモリ保護用の電源となっていますので、バックアップ電池が消耗した状態でメイン電池をはずさないでください。バックアップ電池が消耗した状態でメイン電池をはずすと、データが消えたり変化することがあります。失ったデータを修復することはできませんので、大切なデータは必ず控えをとっておいてください。
- 充電池パックは出荷前の製品検査や自然放電により、電池電圧が低下していることがあります。使用前に必ず充電をしてください。
- 充電池パックは、充放電をくり返すうちに電池寿命が低下します。充電しても極端に連続使用時間が短くなったら充電池パックを交換してください。
- 電池寿命を過ぎて使用すると、電池パックがふくれる場合があります。そのようなときは充電池パックを交換してください。
- バックアップ電池が満充電の場合、メイン電池を外しても約10分間メモリ(RAM)のバックアップを行うことができます。
- バックアップ電池は、メイン電池がセットされた状態において4日間で満充電の状態になります。

取り付け

1 本機を裏返し、左右の充電池パックカバーロックスイッチを「FREE」の位置に回転させ（1）、充電池パックカバーを取り外します（2）。

2 充電池パック（L）(HA-K21LBAT)または充電池パック（XL）（HA-K23XLBAT）を取り付けます。向きを間違えないように注意してください。
また、取り出しテープの端が充電池パックの上に出た状態になるように取り付けてください。

3 充電池パックカバーには2種類あります。カバー裏面の刻印を確かめて、充電池パックに合ったカバーを用意してください。

充電池パック(L)カバー

充電池パック(XL)カバー

4 図のように充電池パックカバーを元に戻し(1 2)、左右の充電池パックカバーロックスイッチを「LOCK」の位置に戻してください(3)。

取り外し

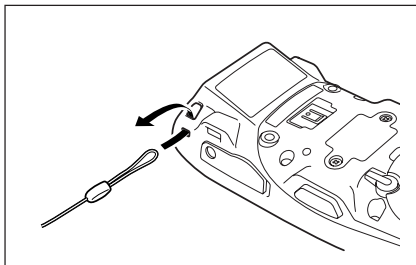
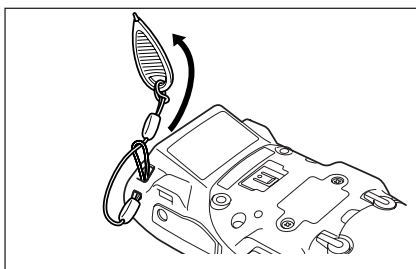
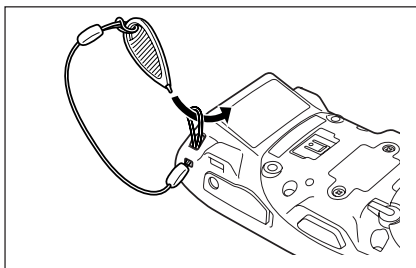
1 電源がOFFになっているのを確認します。
電源が入っていたら、電源キーを押して、必ずOFFにしてください。

2 本機を裏返し、左右の充電池パックカバーロックスイッチを「FREE」の位置に回転させ(1)、充電池パックカバーを取り外します(2)。

3 図のように充電池パックを取り出します。

使用上のご注意

・充電池パックの交換は10分以内に行ってください。
・10分以上充電池パックを外した状態が続くと、本体に記録されたデータが消えることがあります。
・指定された電池以外は使用しないでください。
・充電池パックは、取り出しテープを真上に引き上げて取り出してください。無理に取り出すと破損の原因となります。
・充電池パック(L)カバーと充電池パック(XL)カバーを間違えないように取り付けてください。充電池パック(XL)カバーには裏面に刻印がありますので、確認してから取り付けてください。充電池パック(L)を取り付けたときに充電池パック(XL)カバーを取り付けると、衝撃などにより充電池パックが外れる場合があります。
・ハンドベルトを取り付けているときは、ハンドベルトをゆるめてから充電池パックカバーを開閉してください。無理に引っ張るとハンドベルトや取り付け部が損傷する原因となります。

ペンストラップの取り付けかた

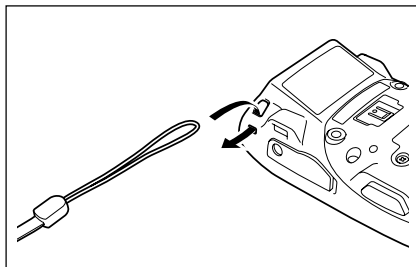
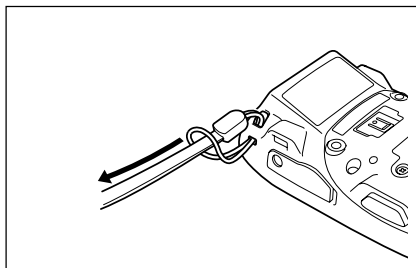
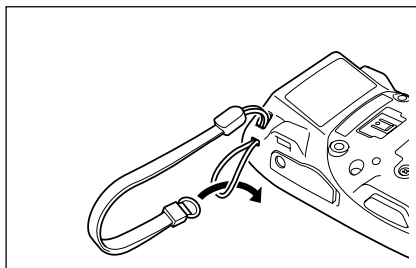
ペン(スタイラス)の紛失防止用として、ペンストラップが使用できます。
ストラップホールは、本体裏面上部の2ヶ所のうち、使い勝手の良い方を使用してください。
ペンストラップは次の手順で取り付けてください。

1 本体裏面上部のストラップホールに、ペンストラップの輪の部分(ペンの付いていない方)を通します。

2 ペンを輪に通します。

使用上のご注意

・ペンストラップを持って、本体をふりまわさないでください。

ハンドストラップの取り付けかた

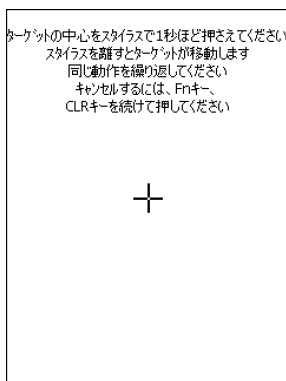
本機は、落下防止用として、ハンドストラップが使用できます。
ストラップホールは4ヶ所ありますので使い勝手の良いホールを使用してください。
ハンドストラップは次の手順で取り付けてください。

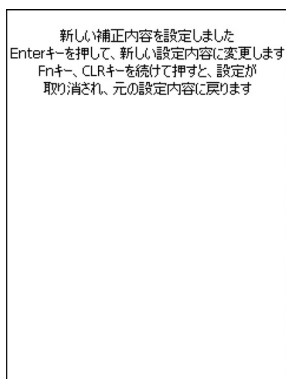
1 本体裏面のストラップホールにハンドストラップの細いひもの輪の部分を通します。

2 反対側のひも(手首にかける部分)を細いひもの輪に通します。

使用上のご注意

・ハンドストラップを持って、本体をふりまわさないでください。

タッチパネルの位置補正

タッチパネルの反応が悪かったり、タッチパネル上でタッチした位置と、動作との間にずれがある場合は、以下の方法でタッチパネルの再補正をしてください。

- **“Fn”キーを押して画面右下に“F”が表示されたことを確認してから“4”キーを押します。**
  次の画面が表示されます。
  ※コントロールパネルから表示させることもできます。
  [スタート]→[設定]→[スタイラス]→[タッチスクリーンの補正]→[再補正]

- **画面の指示に従って、ターゲット(+マーク)の中心をペン(スタイラス)で押さえます。**
  画面上のターゲットを5回押さえると、次の画面が表示されます。エンターキーを押すか、画面の任意の位置をタップします。

新しい補正内容を設定しました
Enterキーを押して、新しい設定内容に変更します
Fnキー、CLRキーを続けて押すと、設定が
取り消され、元の設定内容に戻ります

画面の明るさの設定

画面の明るさを調節する

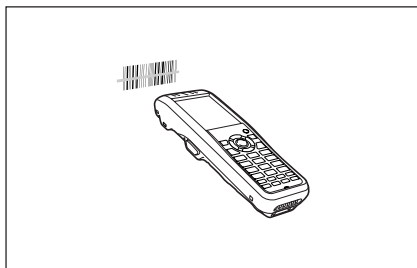
暗いところで本機を操作する場合、画面を見やすくするために、画面の明るさを調整することができます。

- **“Fn”キーを押して画面上に“F”が表示されたことを確認してから、“5”または“6”キーを押します。“5”キーを押すと暗く、“6”キーを押すと明るくなります。**
  ※続けて調整するときは、あらためて“Fn”キーを押してから“5”または“6”キーを押してください。
  ※コントロールパネルから「明るさ」をタップして設定することもできます。

画面の明るさを自動減光する

充電池パックを長持ちさせるために、本機の操作を行わないで一定時間が経過すると、画面の明るさを自動的に減光します。
コントロールパネルから「明るさ」をタップして「バックライト」タブを選択し減光するまでの時間を設定してください。

レーザースキャナの取り扱い(DT-X8-10J/11J)

1 電源をONにして、読み取り口をバーコードに近づけ、トリガーキーを押してください。

2 レーザーが発光し、バーコードが読み取れます。

読み取りが正常に完了するとインジケータ2が緑色に点灯し、ブザーが鳴ります。

使用上のご注意

- 読み取りができないときは、角度を変えたり、距離を変えて再度読み取ってください。
- 本機は40㎜～400㎜の距離からバーコードを読み取ることができます。なお、バーコードの種類によって読み取り可能な距離が異なります。
- 指紋、ほこり、汚れ、しみなどが読み取り口に付着すると、読み取り異常の原因となることがあります。汚れた場合は乾いた柔らかい布などで十分に拭き取ってください。

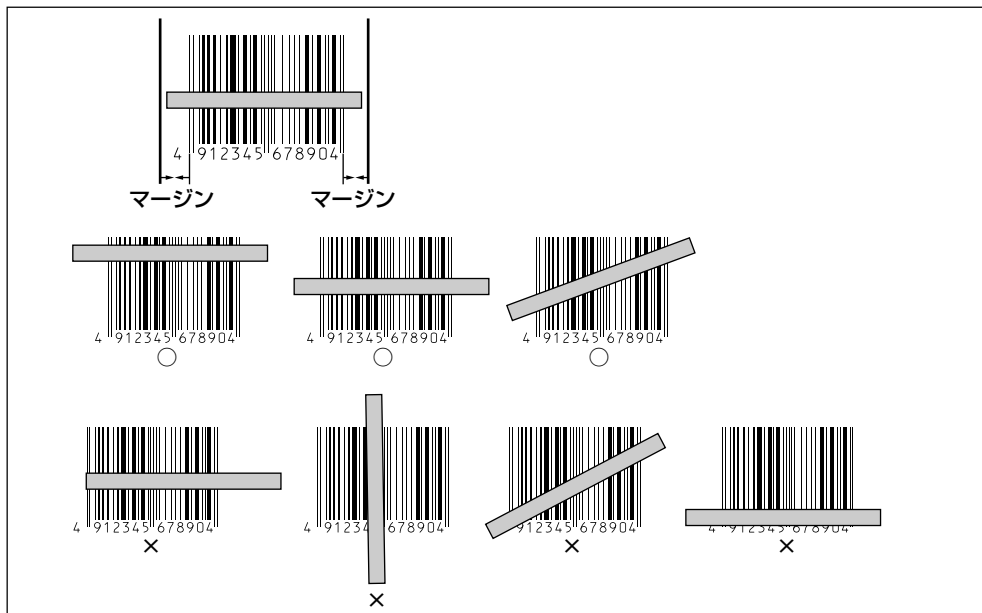
バーコードをスキャンする位置

小さいバーコードは、レーザースキャナを近づけてお使いください。
大きいバーコードは、光にバーが入るように離してお使いください。

マージン　マージン

○ ○ ○

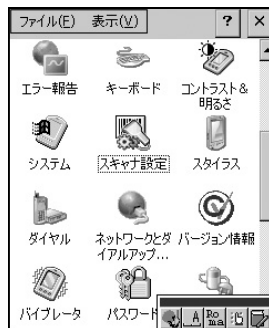
× × × ×

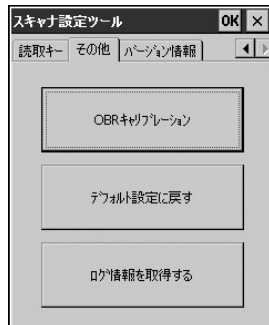
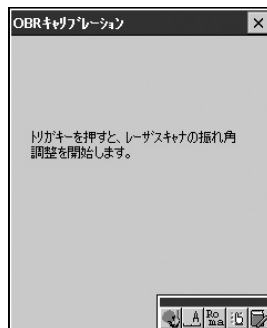
警告

■レーザ光をのぞき込まないでください。

・本機は、レーザ光でスキャンします。
　レーザ光を直接見たり、目にあてたりすることは絶対に避けてください。

レーザー発光幅調整法について

本機はレーザーの発光幅を切り替えることができます。レーザーの発光幅にずれがある場合は、次の方法で調整してください。

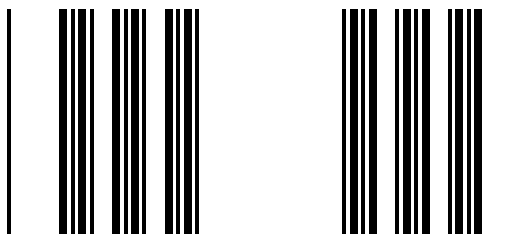
1 [スタート]ボタンをタップし、[設定]→[コントロールパネル]の順にタップします。
「コントロールパネル」が表示されます。

2 [スキャナ設定]アイコンをダブルクリックします。
「スキャナ設定ツール」が表示されます。

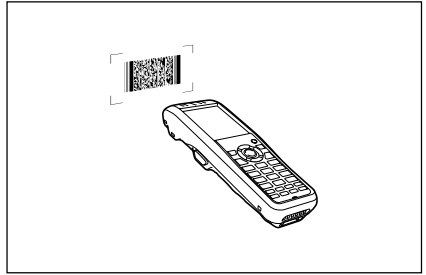
3 [その他]タブをタップします。

4 ［OBRキャリブレーション］ボタンをタップします。
右のように表示されます。

5 トリガーキーを押してレーザーを発光させ、発光幅調整用バーコードに光を合わせます。

・レーザー光を両サイドにある細いバーに合わせてください。

・調整が完了すると右のように表示されます。

・「設定が失敗しました」と表示されたときは、設定をやり直してください。

■発光幅調整用バーコード

イメージャの取り扱い(DT-X8-20J/21J)

1 電源をONにして、読み取り口をバーコードに近づけ、トリガーキーを押してください。

2 LEDが発光し、バーコードが読み取れます。
読み取りが正常に完了するとインジケータ2が緑色に点灯し、ブザーが鳴ります。

使用上のご注意

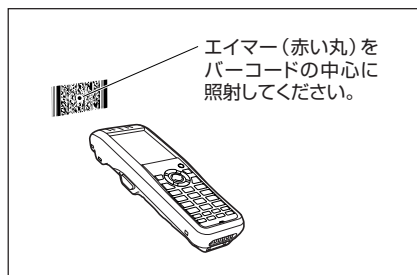
- 読み取りができないときは、角度を変えたり、距離を変えて再度読み取ってください。
- 本機は45㎜〜410㎜の距離からバーコードを読み取ることができます。なお、バーコードの種類によって読み取り可能な距離が異なります。

フルレンジイメージャの取り扱い(DT-X8-40J/41J)

1 電源をONにして、読み取り口をバーコードに向けて、トリガーキーを押してください。

2 LEDが発光し、バーコードが読み取れます。
読み取りが正常に完了するとインジケータ2が緑色に点灯し、ブザーが鳴ります。

バーコードや2次元コードを読み取るときの目安について

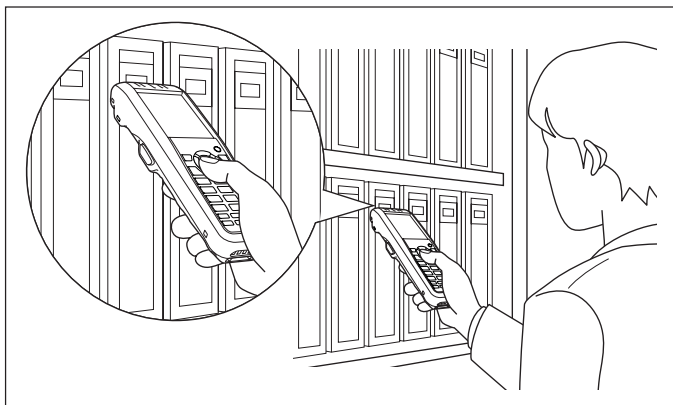
トリガーキーを押すと、読み取り口からエイマーが照射されます。読み取るバーコードや2次元コードの中心を、エイマーに合わせてください。特に、近い位置に複数のバーコードが並んでいるときはご注意ください。
バーコードを読み取るときは、適正な距離に本機の位置を調整してください。

使用上のご注意

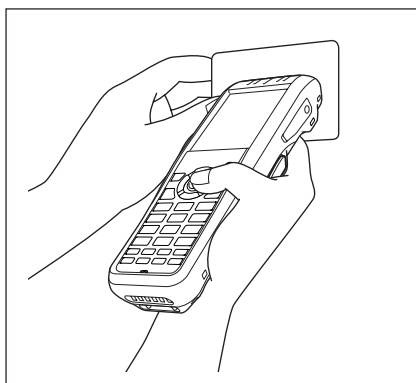
- 読み取りができないときは、角度を変えたり、距離を変えて再度読み取ってください。
- 本機は100㎜～20,000㎜の距離からバーコードを読み取ることができます。なお、バーコードの種類によって読み取り可能な距離が異なります。
- 指紋、ほこり、汚れ、しみなどが読み取り口に付着すると、読み取り異常の原因となることがあります。汚れた場合は乾いた柔らかい布などで十分に拭き取ってください。

NFCリーダー／ライターの取り扱い(DT-X8-11J/21J)

NFCとは、かざすだけでデータの読み書きができるRFID（Radio Frequency Identification）の技術方式の１つです。
物品管理などに使われるRFIDタグや社員証などに使われる非接触ICカードを読み取ることができます。

RFIDタグ

1 ハンディターミナルの読み取り口とRFIDタグが平行になるようにハンディターミナルをかざします。

非接触ICカード

1 ハンディターミナルの読み取り口と非接触ICカードが平行になるようにカードをかざします。
または、ハンディターミナルをカードにかざします。

使用上のご注意

<非接触ICカード、RFIDタグ共通>

- ハンディターミナルのNFCリーダー機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲に他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。
- 非接触ICカード、RFIDタグは読み取り口面と平行になるように接触して読ませてください。
- かざす際に読み取り口にカードやタグを強くぶつけないようにご注意ください。
- 読み取れない場合はハンディターミナルを前後左右にずらしてかざしてください。

<非接触ICカード>

- 非接触ICカードの周囲に金属があると読み取りにくくなります。お財布などにカードを入れている場合は、取り出して読ませてください。
- 複数のカードを重ねて読ませると正確に読み取らない場合があります。

<RFIDタグ>

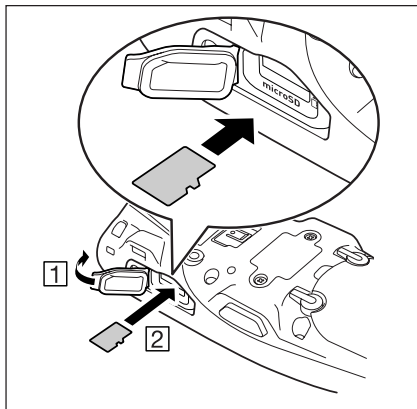
- RFIDの周囲に金属があると読み取りにくくなります。タグの付近に金属がある場合は金属からタグを離すか、金属対応されたタグを使用してください。
- 複数のタグが重なると読み取りにくくなったり正確に読み取らない場合があります。タグとタグとの間は十分な距離を取るように設置してください。

microSDカードの取り扱い

本機はmicroSDカードに対応しています。
microSDカードの装着(交換)は次の手順で行ってください。

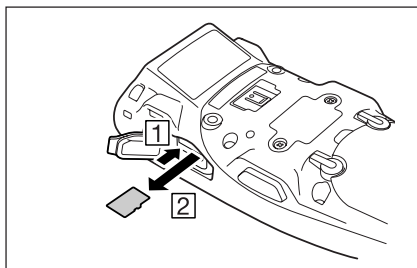
取り付け

1 microSDカードスロットのカバーを開け(1)、microSDカードの表側がハンディターミナルの裏側を向くように奥に突き当たるまで差し込みます(2)。

- 奥まで確実に差し込んでください。
- カードを斜めに挿さないでください。

2 microSDカードスロットのカバーを閉じます。

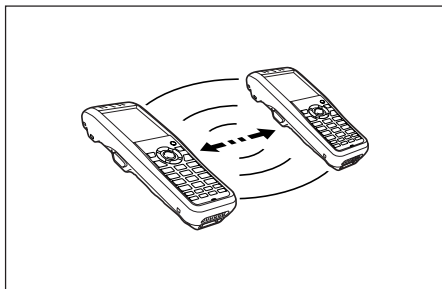
取り外し

1 microSDカードスロットのカバーを開け、microSDカードを押し込みます(1)。microSDカードが押し出されます(2)。

2 microSDカードを引き抜き、microSDカードスロットのカバーを閉じます。

使用上のご注意

- **カードには表と裏があり、スロットへ挿入する方向も決まっています。間違った向きに無理に挿入すると、コネクタやスロットを破損するおそれがあります。挿入する際は、ご注意ください。**
- **カードへの書き込み、読み込み中は電源を切ったりカードを取り出したりしないでください。カードや記憶データを破損するおそれがあります。**
- **カードを落として破損したり紛失したりしないようにご注意ください。**

Bluetooth®通信について

Bluetooth®通信は本体間の通信などでお使いになれます。
相手の機器と3m以内の距離（障害物のない状態）で通信することができます。

使用上のご注意

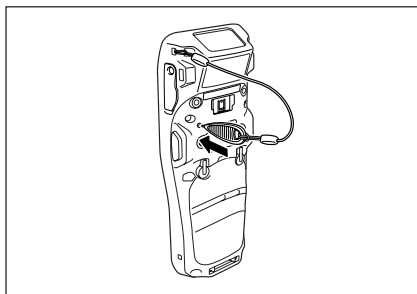
良好な通信を行うために、次の点にご注意ください。

- 他のBluetooth®機器とは、見通し距離約3m以内で通信してください。周囲の環境（障害物）によっては通信可能距離は短くなります。
- 他の機器（電気製品／AV機器／OA機器／デジタルコードレス電話機／ファックスなど）から2m以上離れて通信してください（特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください）。近づいていると、他の機器の電源が入っているときには、正常に通信できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります（UHFや衛星放送の特定のチャンネルではテレビ画面が乱れることがあります）。
- 放送局や無線機などが近く、正常に通信できないときは、通信場所を変更してください。周囲の電波が強すぎると、正常に通信できないことがあります。
- ワイヤレスLANとの電波干渉について
  Bluetooth®通信とワイヤレスLANは同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、ワイヤレスLANを搭載した機器の周辺で本機を使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や接続不能になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
  - ワイヤレスLANを搭載した機器からは、10m以上離れて使用してください。
  - 10m以内で使用する場合は、本機またはワイヤレスLANを搭載した機器の一方の電源を切ってください。
  - Bluetooth® Ver2.0を搭載することにより、本機の無線LANとBluetooth®通信を同時使用することが可能となりますが、周囲の電波環境により通信できない場合があります。

リセットのしかた

「リセット」はパソコンでの「再起動」に相当します。リセットを実行すると、入力中や編集中などで、まだ保存していなかったRAMデータは消去されますが、フラッシュROM上に保存されているデータや各種設定などは基本的にそのまま残ります。
誤操作や何らかの異常により、本機が正常に動作しなくなった場合は、リセット操作を行う必要があります。

本機背面のリセットスイッチをペン(スタイラス)で押します。

リセット処理が開始されます。

フルリセット(ハンディターミナルの初期化)について

フルリセットを実行すると、すべてのデータが消去され、各種の設定がすべて初期状態に戻ります。
＊Flashdiskフォルダに保存されているデータは消えません。

フルリセットは、次のような場合に実行します。

- インストールしたプログラムや設定を消去して、本機を初期状態に戻したい場合
- パスワードを忘れてしまい、本機を使うことができなくなった場合
- メモリ異常のため、本機が正常に動作しなくなった場合

フルリセットの実行のしかた

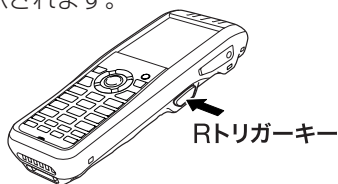
使用上のご注意

- **フルリセットを行うと、Flashdiskフォルダに保存しているデータを除いてすべてのデータが初期化されてしまいます。可能な場合は、本機のデータをパソコンもしくはFlashdiskフォルダなどへバックアップを行っておいてください。**

1 FnキーとCLRキーを押しながらリセットボタンをペン(スタイラス)で約3秒間押すと、以下のメッセージが表示されます。

- 実行を解除する場合は、Lトリガーキーを押します。

2 Rトリガーキーを押すと、以下のメッセージが表示されます。

ﾌﾙﾘｾｯﾄ警告
ﾙｰﾄﾃﾞｨｽｸに保存されている全ての
ﾃﾞｰﾀは消去されます。
「Rﾄﾘｶﾞｰｷｰ」を押すと実行します。
（解除する場合は、「Lﾄﾘｶﾞｰｷｰ」を
押してください。）

Rトリガーキー

- 実行を解除する場合は、Lトリガーキーを押します。

3 再度Rトリガーキーを押します。

- フルリセットが実行され、すべてのメモリ上のデータが消去され、起動画面が表示されます。
  ＊Flashdiskフォルダに保存されているデータは消えません。

DT-X8の仕様

型式：　DT-X8-10J, DT-X8-11J, DT-X8-20J, DT-X8-21J, DT-X8-40J, DT-X8-41J
CPU：　Marvell® PXA320
OS：　Microsoft® Windows® Embedded CE 6.0 R3
メモリ：　RAM 128MB、フラッシュROM256MB（ユーザー領域：約160MB）
表示：　透過型カラーTFT2.7型Blanview®液晶（240×320ドット： 65,536色）
レーザースキャナ部(DT-X8-10J/11J)：
読み取りコード：
UPC-A、UPC-E、EAN8 (JAN8)、EAN13 (JAN13)、Codabar (NW-7)、Code39、Interleaved 2 of 5 (ITF)、MSI、Industrial 2 of 5、Code93、Code128 (GS1-128 (EAN128))、IATA、GS1 DataBar Omnidirectional (RSS-14)、GS1 DataBar Limited (RSS Limited)、GS1 DataBar Expanded (RSS Expanded)、GS1 DataBar Stacked (RSS-14 Stacked)、GS1 DataBar Expanded Stacked (RSS Expanded Stacked)、GS1 DataBar Truncated (RSS-14 Truncated)、GS1 DataBar Stacked Omnidirectional (RSS-14 Stacked)
読み取り距離：約40mm～400mm
CMOSイメージャ部(DT-X8-20J/21J)：
読み取りコード：
1D : UPC-A、UPC-E、EAN8 (JAN8)、EAN13 (JAN13)、Codabar (NW-7)、Code39、Interleaved 2 of 5 (ITF)、MSI、Code93、Code128 (GS1-128 (EAN128))、Code11、IATA、GS1 DataBar Omnidirectional (RSS-14)、GS1 DataBar Limited (RSS Limited)、GS1 DataBar Expanded (RSS Expanded)、Code32、GS1 DataBar Truncated (RSS-14 Truncated)、ISBT
Stacked 2D : PDF417、Micro PDF、CODE49、Composite、Codablock F、TLC39、GS1 DataBar Stacked Omnidirectional (RSS-14 Stacked)、GS1 DataBar Expanded Stacked (RSS Expanded Stacked)、GS1 DataBar Stacked (RSS-14 Stacked)
Matrix 2D : Aztec、DataMatrix、Maxicode、QR Code、MicroQR、Chinese Sensible Code（Han Xin Code）
読み取り距離：
1D：約45mm～410mm
Stacked 2D：約65mm～260mm
Matrix 2D：約55mm～195mm

フルレンジイメージャ部(DT-X8-40J/41J)：
読み取りコード：
1D : UPC-A、UPC-E、EAN8 (JAN8)、EAN13 (JAN13)、Codabar (NW-7)、Code39、Interleaved 2 of 5 (ITF)、MSI、Code93、Code128 (GS1-128 (EAN128))、Code11、IATA、GS1 DataBar Omnidirectional (RSS-14)、GS1 DataBar Limited (RSS Limited)、GS1 DataBar Expanded (RSS Expanded)、Code32、GS1 DataBar Truncated (RSS-14 Truncated)、ISBT
Stacked 2D : PDF417、Micro PDF、Composite、Codablock F、GS1 DataBar Stacked Omnidirectional (RSS-14 Stacked)、GS1 DataBar Expanded Stacked (RSS Expanded Stacked)、GS1 DataBar Stacked (RSS-14 Stacked)
Matrix 2D : Aztec、DataMatrix、Maxicode、QR Code (Model2)、MicroQR
読み取り距離：
1D：約130mm～2,500mm
Stacked 2D：約130mm～2,500mm
Matrix 2D：約100mm～20,000mm

Bluetooth®通信：
通信方式：　Bluetooth® Specification Ver.2.0（Class2）
通信距離：　約3m（電波の状態や環境により変化します）
出力：　最大4dBm

無線LAN通信：
標準規格：　IEEE 802.11b準拠
IEEE 802.11g準拠
拡散変調方式：　IEEE 802.11b：
DSSS (Direct Sequence Spread Spectrum)直接拡散方式
IEEE 802.11g：
OFDM (Orthogonal Frequency Division Multiplexing)直交周波数分割多重方式
無線周波数：　中心周波数：
IEEE 802.11b：1～14ch(2.412～2.484GHz)
IEEE 802.11g：1～13ch(2.412～2.472GHz)
周波数範囲：
IEEE 802.11b：2.400～2.497GHz
IEEE 802.11g：2.400～2.4835GHz
伝送速度：　IEEE 802.11b：　11Mbpsまで
IEEE 802.11g：　54Mbpsまで
伝送距離：　IEEE 802.11b/g：屋内50m、屋外150m
（伝送距離は使用環境によって異なります）
チャンネル数：　IEEE 802.11b：14
IEEE 802.11g：13
出力：　IEEE 802.11b：最小13.5dBm、最大17.5dBm
IEEE 802.11b：最小12.5dBm、最大16.5dBm
その他機能：　複数のアクセスポイント間でのローミング機能

NFC(DT-X8-11J/21J/41J)：
キャリア周波数：13.56MHz±7kHz
アンテナ：磁界型ループアンテナ
動作磁界：出力磁界強度 1.5A/m以上(ケース接触時)
ビットレート：106kbps、212kbps、424kbps、1.65kbps
変調方式：ASK
変調度：10%変調、100%変調
読み取り距離：ISO14443TypeA/B、FeliCa：0mm(ケースに接触)
ISO15693：0mm(ケースに接触)
読み取り範囲：32mm×20mm(カード・タグ種に依存)
対応カード：ISO14443TypeA、ISO14443TypeB、FeliCa
(JIS X 6319)、ISO15693

microSDメモリーカードスロット：SDHCメモリーカード対応

電源：
メイン電源用：充電池パック(L) HA-K21LBAT
充電池パック(XL) HA-K23XLBAT
バックアップ電源用：リチウム充電池(内蔵)

消費電力：
DC2.2A：DT-X8-10J、DT-X8-11J
DC2.4A：DT-X8-20J、DT-X8-21J、DT-X8-40J、DT-X8-41J

電池寿命：
メイン電池：DT-X8-10J、DT-X8-11J
約17時間(HA-K21LBAT)*
約25時間(HA-K23XLBAT)*
DT-X8-20J、DT-X8-21J、DT-X8-40J、DT-X8-41J
約15時間(HA-K21LBAT)*
約20時間(HA-K23XLBAT)*
* 常温、新品電池、CPUスピード設定が自動パワーセーブモードでバックライトOFF、待機：演算：スキャン：無線が20：1：1：1の場合

動作温度：−20～50℃

動作湿度：10～90%RH(結露なきこと)

落下強度：3.0m**

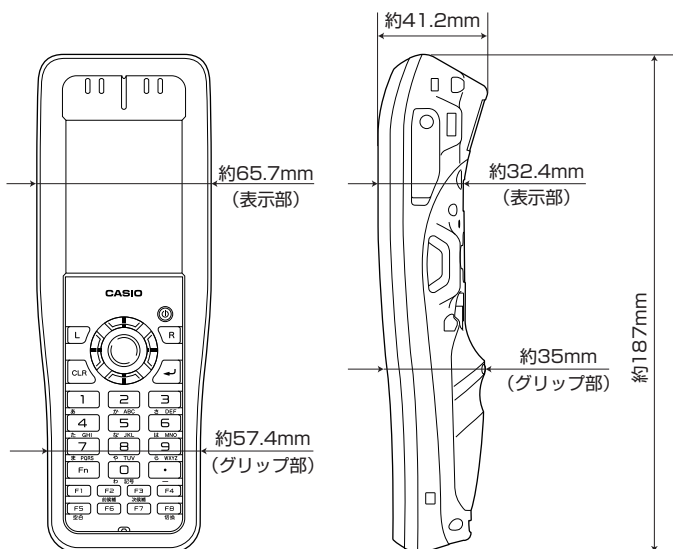
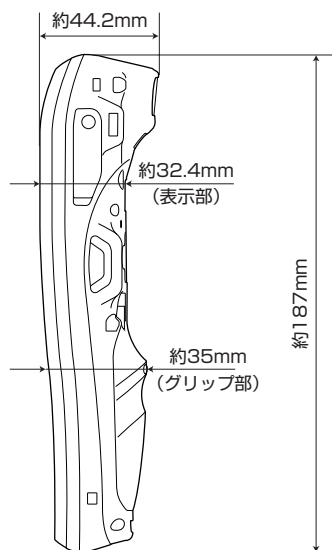
防水防塵性能：JIS防水形準拠、IP67準拠
※コネクタなどのカバーはすべて閉めた状態

外形寸法：「外形寸法図」をご覧ください。

質量：
DT-X8-10J/20J：約260g(充電池パック(L)装着時)
約280g(充電池パック(XL)装着時)
DT-X8-11J/21J：約265g(充電池パック(L)装着時)
約285g(充電池パック(XL)装着時)
DT-X8-40J：約270g(充電池パック(L)装着時)
約290g(充電池パック(XL)装着時)
DT-X8-41J：約275g(充電池パック(L)装着時)
約295g(充電池パック(XL)装着時)

バイブレータ機能：ソフトウェアの設定により使用可

**試験値であり、保証値ではありません。

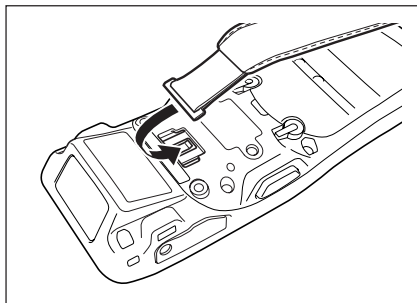
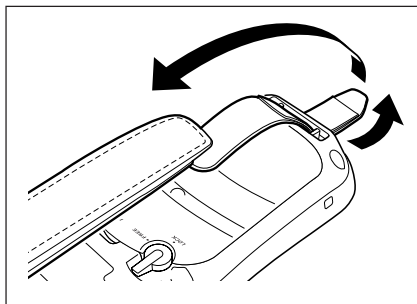
＜外形寸法図＞

DT-X8-10J/11J/20J/21J

DT-X8-40J/41J

ハンドベルト(HA-K95HB)の取り扱い

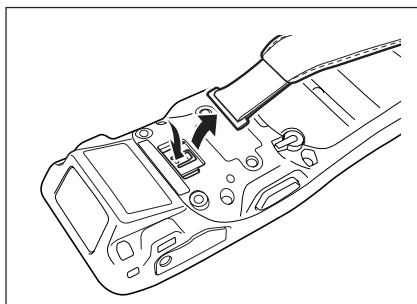
本機には別売のハンドベルト(HA-K95HB)を取り付けることができます。

取り付け

1 図のように、ハンドベルトの金具を本体の取り付け位置に合わせて押しこみます。

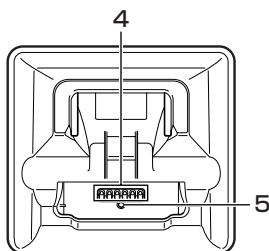
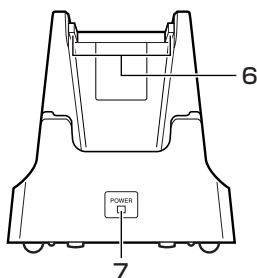
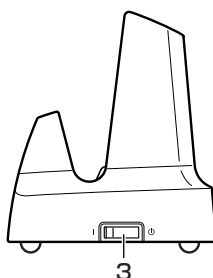
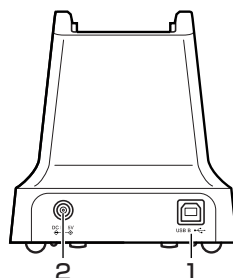
しっかり固定されたことを確認してください。

2 ハンドベルトの先端を本体下部の穴に通し、折り返して適切な長さになるようマジックテープで固定します。

取り外し

1 マジックテープをはがして、ハンドベルトを本体下部の穴から引き抜きます。

2 図のように、本体の突起部分を押しながらハンドベルトの金具を引き抜きます。

I/Oボックス(HA-K60IO)の取り扱い

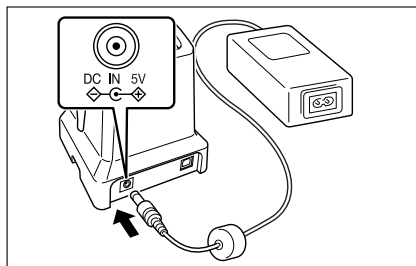
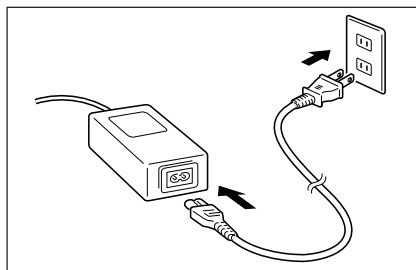
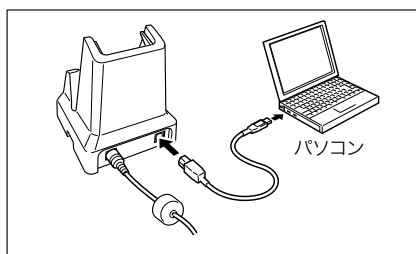
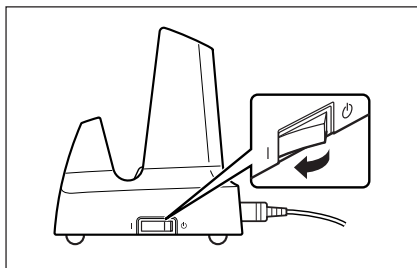
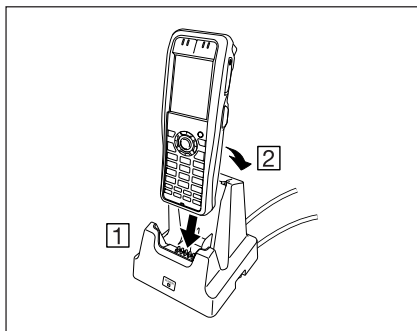
別売のI/Oボックス(HA-K60IO)は、DT-X8とパソコンなどとの間でUSBインターフェースを使いシステムデータ、ファイルデータの転送(ダウンロード、アップロード)ができます。また、DT-X8を接続して充電池パックを充電することができます。

各部の名称とはたらき

上面

正面

右側面

背面

1	USBクライアント用ポート	USBケーブル(DT-380USB-A)を使ってパソコンへ接続し、システムデータ、ファイルデータの転送(ダウンロード・アップロード)を行います。PCに接続する前に、PC側に専用ドライバをインストールする必要があります。
2	ACアダプタジャック	ACアダプタ(別売)を接続して電源を供給します。
3	電源スイッチ	電源をON/OFFします。
4	給電／データ通信端子	DT-X8へ電源を供給したり、USB通信を行う端子です。
5	本体装着検知用スイッチ	DT-X8が正しくセットされていることを検知するスイッチです。
6	DT-X8固定用フック	DT-X8をI/Oボックスに固定するときに使用します。
7	電源表示用LED	電源の状態、DT-X8の装着状態を表示します。 消灯：DT-X8は装着されていません。 緑色点灯：電源ON、DT-X8が正常に装着されています。

I/Oボックスの電源の取り付けかたと接続

I/Oボックスの電源は、別売のACアダプタ(AD-S15050B)を使用してください。
DT-X8とデータ通信する前に必ずI/OボックスとACアダプタを接続してください。
DT-X8への電源はI/Oボックスから供給されます。

1 I/Oボックスの背面にあるACアダプタジャックへACアダプタを差し込みます。

2 電源コードをACアダプタに接続したあと、電源コードのプラグをコンセントに接続します。

3 USBケーブル(DT-380USB-A)をI/Oボックス背面にあるUSBクライアントへ接続しパソコンに接続します。

4 I/Oボックスの右側面にある電源スイッチをONにします。I/Oボックス前面の電源表示用LEDが赤色に点灯します。

5 DT-X8底面の端子とI/Oボックスの給電／データ通信端子を合わせるようにしてから(1)I/Oボックスの固定用フックにDT-X8の固定部(くぼみ)を合わせて突き当たるまで押し込んで(2)装着します。

I/Oボックス前面の電源表示用LEDが緑色に点灯し、DT-X8のインジケータ1が点灯することを確認してください。

DT-X8をI/Oボックスから外すときは、DT-X8を前方に傾けて固定用フックから固定部(くぼみ)を外してから引き抜いてください。

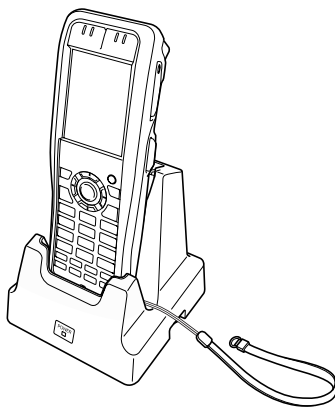
DT-X8のインジケータ1の表示

オレンジ色点灯： 充電中
赤色点滅： 充電池パックの異常、充電可能温度でないため待機中(充電可能温度になると充電開始)
緑色点灯： 充電完了

DT-X8 のインジケータ2 の表示

青色点滅： Bluetooth® 使用時
オレンジ色点滅： WLAN 使用時
マゼンタ色点滅： 通信可能状態

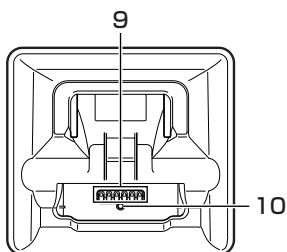
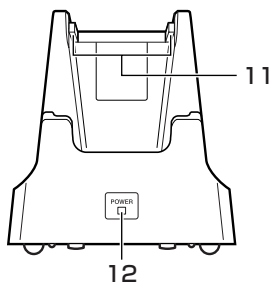
使用上のご注意

- 給電／データ通信端子は水などで濡らすと感電や発火の原因となり、また汚れていると接触が悪くなり充電機能が低下します。安全のためACアダプタを抜いてから、給電／データ通信端子を乾いた布や綿棒などで拭いて清掃してください。
- I/Oボックスの給電／データ通信端子は絶対にショートさせないでください。
  ショートさせると故障の原因となります。
- USBインターフェースでの通信中に振動や衝撃を与えないでください。
  通信が切れる原因となります。
- DT-X8を装着する際は、I/Oボックスの固定用フックにしっかりと装着し、I/Oボックス前面の電源表示用LEDが緑色に点灯していることを確認してください。
  正しく装着されないと、充電や通信が行えません。
- 使用しないポートには、必ずキャップを取り付けてください。キャップを外したまま使用すると故障の原因となります。
- ハンドストラップをご使用の場合は、はさみ込まないよう注意してセットしてください。ハンドストラップは図のように出してください。セットしづらいときは、本体上部のストラップホールにハンドストラップを取り付けてください。

I/Oボックス(HA-K60IO)の仕様

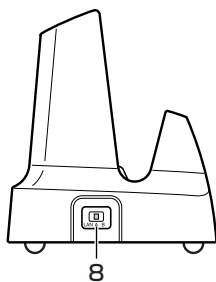
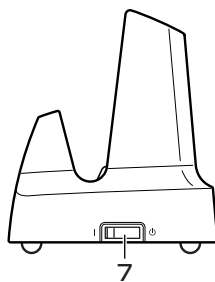
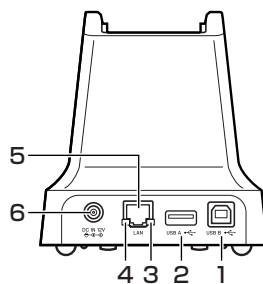
1. USB仕様
   規格　　　　　　：USB Ver1.1準拠
   伝送速度　　　　：12Mbps(MAX)
2. 充電仕様
   充電方式　　　　：定電流電圧方式
   充電時間　　　　：約3.5時間(充電池パック(L))(HA-K21LBAT)
   　　　　　　　　　約4時間(充電池パック(XL))(HA-K23XLBAT)
3. 電源部
   使用電源　　　　：AD-S15050B
   消費電流　　　　：DC5V 3.0A
   本体(DT-X8)出力：DC5V 3.0A(MAX)
4. ACアダプタ仕様
   規格名　　　　　：AD-S15050B
   入力　　　　　　：AC 100-240V 50/60Hz 0.36A-0.2A
   出力　　　　　　：DC 5V 3.0A
5. 外形寸法・質量
   外形寸法　　　　：約110(幅)×111(奥行)×126(高さ)mm
   質量　　　　　　：約307g
6. 動作環境
   動作温度　　　　：0～40℃
   動作湿度　　　　：10～90%RH(結露なきこと)

LAN I/Oボックス(HA-K62IO)の取り扱い

別売のLAN I/Oボックス(HA-K62IO)は、DT-X8とパソコンなどとの間でUSBインターフェースやLANインターフェースを使いシステムデータ、ファイルデータの転送(ダウンロード、アップロード)ができます。また、DT-X8を接続して充電池パックを充電することができます。

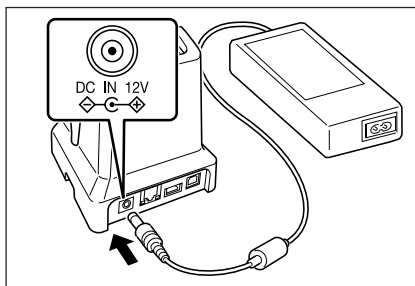
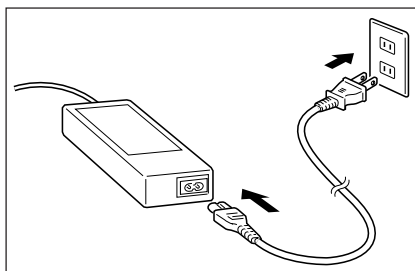
各部の名称とはたらき

正面

左側面

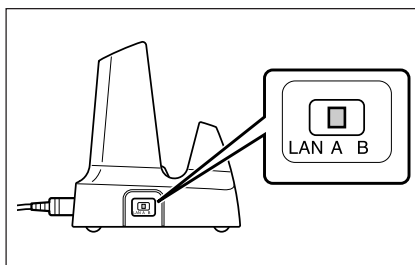
右側面

背面

1	USBクライアント用ポート	USBケーブル(DT-380USB-A)を使ってパソコンへ接続し、システムデータ、ファイルデータの転送(ダウンロード・アップロード)を行います。PCに接続する前に、PC側に専用ドライバをインストールする必要があります。
2	USBホスト用ポート	対応するUSB周辺機器との接続に使用します。
3	LAN 接続状態表示用LED	LANの接続状態を表示します。 消灯：LANケーブルが正しく接続されていません。 緑色点灯：LAN ケーブルが正しく接続されています。
4	LAN 通信状態表示用LED	LANの稼働状態を表示します。 消灯：通信していません。 緑色点滅：通信中です。
5	LAN 用ポート	LAN ケーブルを使ってパソコンやHUBへ接続し、システムデータ、ファイルデータの転送(ダウンロード、アップデート)を行います。 DT-X8に専用ドライバをインストールする必要があります。
6	ACアダプタジャック	ACアダプタ(別売)を接続して電源を供給します。
7	電源スイッチ	電源をON/OFFします。
8	切替スイッチ	USBホスト、USBクライアント、およびLAN切替えを行うスイッチです。
9	給電／データ通信端子	DT-X8へ電源を供給したり、通信を行う端子です。
10	本体装着検知用スイッチ	DT-X8が正しくセットされていることを検知するスイッチです。
11	DT-X8固定用フック	DT-X8をLAN I/Oボックスに固定するときに使用します。
12	電源表示用LED	電源の状態、DT-X8の装着状態を表示します。 消灯：DT-X8は装着されていません。 緑色点灯： 電源ON、DT-X8が正常に装着されています。

LAN I/Oボックスの電源の取り付けかたと接続

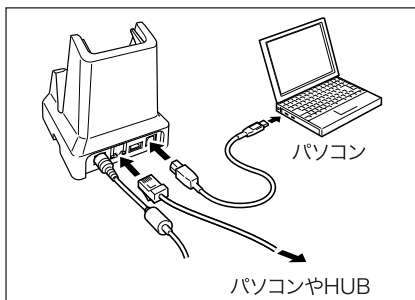
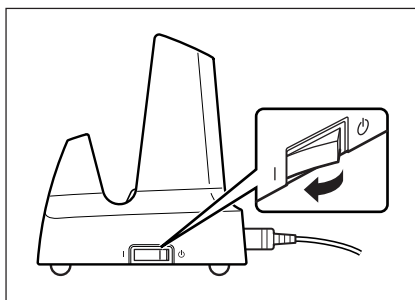
LAN I/Oボックスの電源は、別売のACアダプタ(AD-S42120B)を使用してください。
DT-X8とデータ通信する前に必ずLAN I/OボックスとACアダプタを接続してください。
DT-X8への電源はLAN I/Oボックスから供給されます。

1 LAN I/Oボックスの背面にあるACアダプタジャックへACアダプタを差し込みます。

2 電源コードをACアダプタに接続したあと、電源コードのプラグをコンセントに接続します。

3 LAN I/Oボックスの背面にある切り替えスイッチを使用するポートに合わせてセットします。

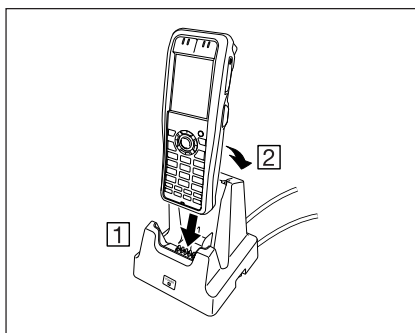
LAN用ポートを使用する場合はLAN側に、USBクライアントを使用する場合はB側に、USBホストを使用する場合はA側にセットしてください。

4 使用する前にポートに付いているキャップを取り外してください。

LANを使用するときは、LAN用ポートにLANケーブルを接続し、パソコンやHUBへ接続します

USBケーブル(DT-380USB-A)をLAN I/Oボックス背面にあるUSBクライアントへ接続しパソコンに接続します。

USBホストは他のUSB周辺機器との接続に使用します。

5 LAN I/Oボックスの右側面にある電源スイッチをONにします。LAN I/Oボックス前面の電源表示用LEDが赤色に点灯します。

6 DT-X8底面の端子とLAN I/Oボックスの給電／データ通信端子を合わせるようにしてから(1)LAN I/Oボックスの固定用フックにDT-X8の固定部(くぼみ)を合わせて突き当たるまで押し込んで(2)装着します。

LAN I/Oボックス前面の電源表示用LEDが緑色に点灯し、DT-X8のインジケータ1が点灯することを確認してください。

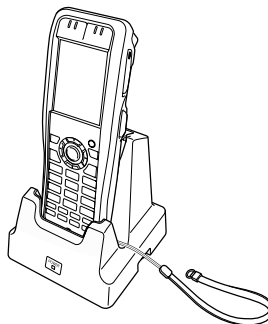
DT-X8をLAN I/Oボックスから外すときは、DT-X8を前方に傾けて固定用フックから固定部(くぼみ)を外してから引き抜いてください。

DT-X8のインジケータ1の表示

オレンジ色点灯：充電中
赤色点滅：　充電池パックの異常、充電可能温度でないため待機中
（充電可能温度になると充電開始）
緑色点灯：　充電完了

DT-X8 のインジケータ2 の表示

青色点滅：　Bluetooth® 使用時
オレンジ色点滅：　WLAN 使用時
マゼンタ色点滅：　通信可能状態(USB 接続時)

使用上のご注意

- LAN、USBクライアント、およびUSBホストのスイッチを切り替えるときは、必ずDT-X8をLAN I/Oボックスから外してください。
- 給電／データ通信端子は水などで濡らすと感電や発火の原因となり、また汚れていると接触が悪くなり充電機能が低下します。安全のためACアダプタを抜いてから、給電／データ通信端子を乾いた布や綿棒などで拭いて清掃してください。
- LAN I/Oボックスの給電／データ通信端子は絶対にショートさせないでください。ショートさせると故障の原因となります。
- LAN、USBクライアント、およびUSBホストでの通信中に振動や衝撃を与えないでください。
  通信が切れる原因となります。
- DT-X8を装着する際は、LAN I/Oボックスの固定用フックにしっかりと装着し、LAN I/Oボックス前面の電源表示用LEDが緑色に点灯していることを確認してください。
  正しく装着されないと、充電や通信が行えません。
- LAN、USBクライアント、およびUSBホストを同時に使用することはできません。
- 使用しないポートには、必ずキャップを取り付けてください。キャップを外したまま使用すると故障の原因となります。
- ハンドストラップをご使用の場合は、はさみ込まないよう注意してセットしてください。ハンドストラップは図のように出してください。セットしづらいときは、本体上部のストラップホールにハンドストラップを取り付けてください。

LAN I/Oボックス(HA-K62IO)の仕様

1. LAN 仕様

通信方式　：IEEE 802.3準拠
メディアタイプ　：10base-T/100base-TX自動切換

2. USB仕様

規格　：USB Ver1.1準拠
伝送速度　：12Mbps(MAX)

3. 充電仕様

充電方式　：定電流電圧方式
充電時間　：約3.5時間(充電池パック(L))(HA-K21LBAT)
約4時間(充電池パック(XL))(HA-K23XLBAT)

4. 電源部

使用電源　：AD-S42120B
消費電流　：DC12V 2.0A
本体(DT-X8)出力：DC5V 3.0A(MAX)
USBホスト出力　：DC5V 500mA(MAX)

5. ACアダプタ仕様

規格名　：AD-S42120B
入力　：AC 100-240V 50/60Hz 1.3-0.7A
出力　：DC 12V 3500mA

6. 外形寸法・質量

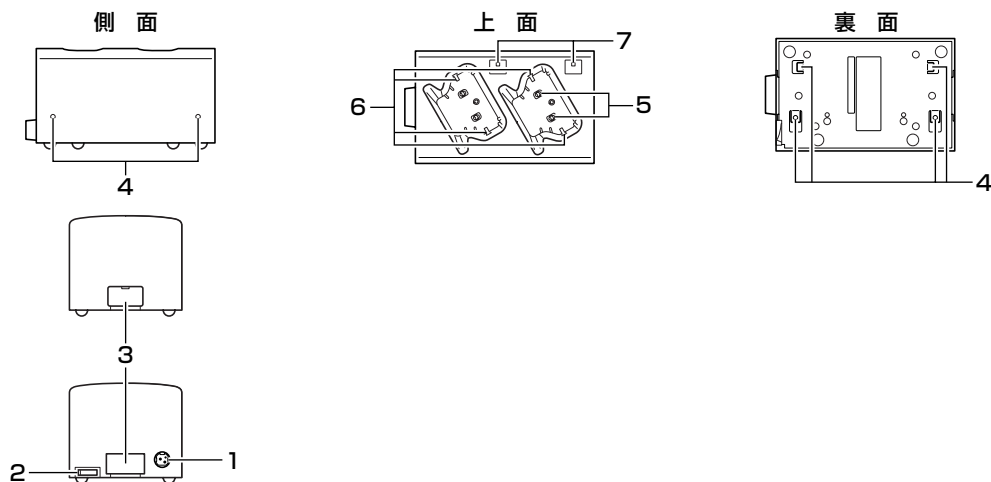
外形寸法　：約110(幅)×111(奥行)×126(高さ)mm
質量　：約325g

7. 動作環境

動作温度　：0～40℃
動作湿度　：10～90%RH(結露なきこと)

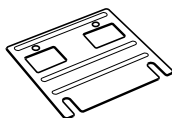
集合充電器(HA-K36DCHG)の取り扱い

別売の集合充電器(HA-K36DCHG)は、充電池パックをDT-X8に装着した状態で2台同時に充電することができます。

各部の名称とはたらき

同梱品

集合充電器を2台以上接続する場合に使用します。

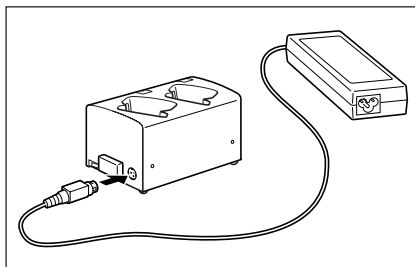
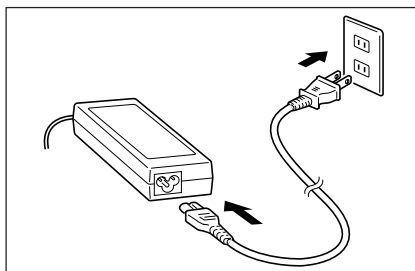
・ 接続用アタッチメント(裏面用)

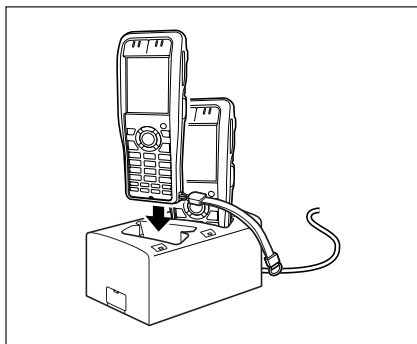
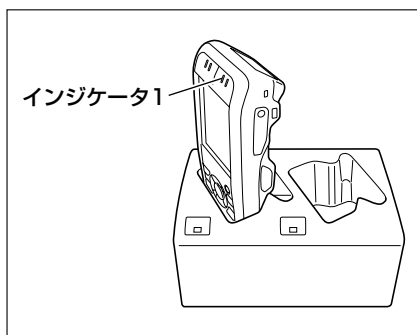
・ 接続用アタッチメント(側面用)

・ 接続用ネジ(裏面用、側面用)　各2本

1	ACアダプタジャック	AC アダプタ(別売)を接続して電源を供給します。
2	電源スイッチ	電源をON/OFFします。
3	集合充電器接続用コネクタ	集合充電器どうしの接続に使います。
4	接続用アタッチメント取り付け部	集合充電器を2台以上接続する際に、接続用アタッチメントを取り付けます。
5	給電端子	DT-X8へ電源を供給する端子です。
6	固定用フック	DT-X8を集合充電器に固定するときに使用します。
7	電源表示用LED	電源の状態、DT-X8の装着状態を表示します。 消灯：電源OFF。 緑色点灯：電源ON、DT-X8が正常に装着されています。 赤色点灯：電源ON、DT-X8は装着されていません。

充電のしかた

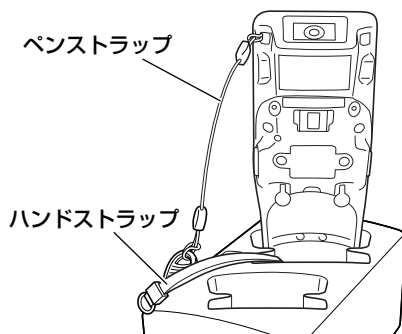
集合充電器の電源は、別売のACアダプタ(AD-S90190C-JP)を使用してください。

1 集合充電器のACアダプタジャックにACアダプタのコネクタを彫刻面を上にしてカチッと音がするまで確実に差し込みます。

2 電源コードをACアダプタに接続したあと、電源コードのプラグをコンセントに接続します。

3 側面にある電源スイッチをオンにします。上面の電源表示用LEDが赤色に点灯します。

4 DT-X8の底部にある端子と集合充電器の端子を合わせるようにしてセットします。ハンドストラップなどが中に入り込まないよう、気をつけてください。

上面の電源表示用LEDが緑色に点灯し、インジケータ1がオレンジ色に点灯します。

DT-X8のインジケータ1の表示

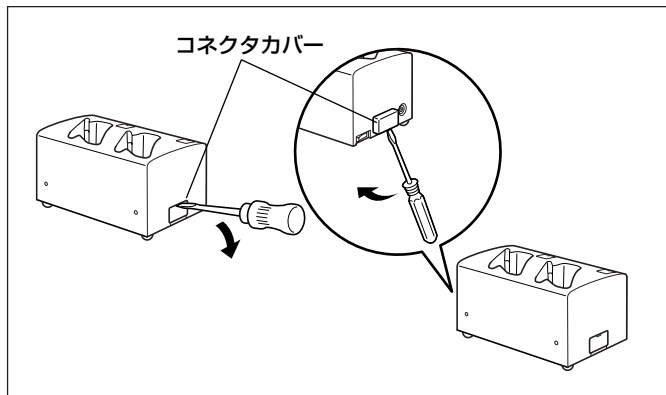
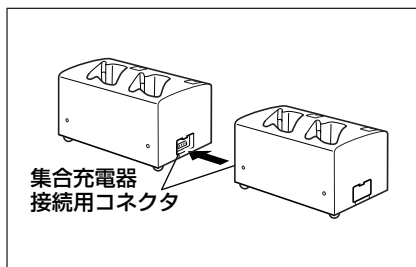
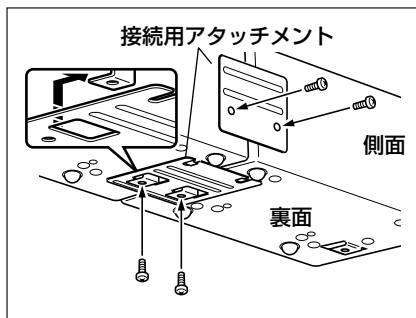
オレンジ色点灯：　充電中
赤色点滅：　　　充電池パックの異常、充電可能温度でないため待機中
（充電可能温度になると充電開始）
緑色点灯：　　　充電完了

使用上のご注意

- 給電端子は水などで濡らすと感電や発火の原因となり、また汚れていると接触が悪くなり充電機能が低下します。給電端子を清掃するときは、安全のためACアダプタを抜いてから、乾いた布や綿棒などで拭いてください。
- 充電中はACアダプタを抜かないでください。
- ACアダプタを抜くときは、コードを引っ張らずにプラグ部分を持って抜いてください。
- DT-X8の電源をOFFにしてからセットしてください。
- DT-X8のインジケータ１が点滅した場合は、ACアダプタのプラグをコンセントから抜いて接続しなおしてください。
- DT-X8を集合充電器にセットするときは、ペンストラップ、ハンドストラップが中に入り込まないようセットしてください。ハンドストラップは図の位置から出してください。
- セットしづらいときは、本体上部のストラップホールにハンドストラップを取り付けてください。

※ ハンドストラップを左側につけた場合は左のくぼみ、右側につけた場合は右のくぼみから出してください。

2台以上の接続

集合充電器を3台まで接続して、１つのACアダプタで充電することができます。

1 接続する側のコネクタカバーを取り外します。

2 集合充電器接続用コネクタを接続させます。

3 裏面と側面に接続用アタッチメントを取り付け、ネジで固定します。
同様にして最大3台まで接続することができます。

使用上のご注意

- 接続用アタッチメントは集合充電器1台につき、裏面用と側面用各1枚付いています。複数の集合充電器を接続すると、接続用アタッチメントがそれぞれ1枚ずつ余ります。余分の接続用アタッチメントは予備として保管してください。
- 集合充電器を2台以上接続するときは、必ずACアダプタを抜いてから接続してください。

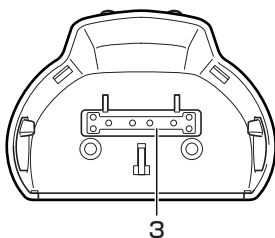
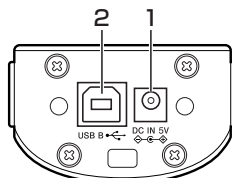
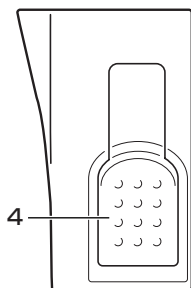
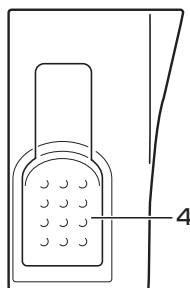
集合充電器(HA-K36DCHG)の仕様

充電時間：　約3.5時間(充電池パック(L))(HA-K21LBAT)
約4 時間(充電池パック(XL))(HA-K23XLBAT)
使用電源：　AD-S90190C-JP
消費電流：　DC19V 4.74A
動作温度：　0 ～ 40℃
動作湿度：　30 ～ 80%RH
大きさ：　約159mm ×約100mm ×約85mm
質量：　約495g

USB通信充電アダプタ(HA-K65US)の取り扱い

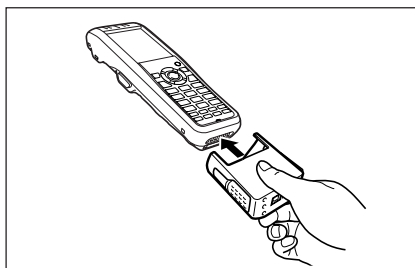
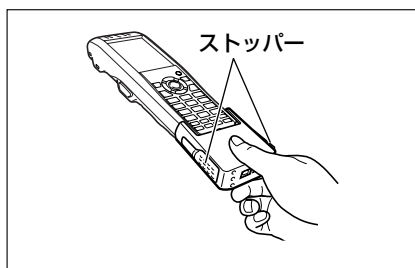
別売のUSB通信充電アダプタ(HA-K65US)は、DT-X8とパソコンとの間でUSBインターフェースを使いシステムデータ、ファイルデータの転送(ダウンロード、アップロード)ができます。また、DT-X8を接続して充電池パックを充電することができます。

各部の名称とはたらき

上面

底面

左側面

右側面

1	ACアダプタジャック	ACアダプタ(別売)を接続して電源を供給します。
2	USBクライアント用ポート	USBケーブル(DT-380USB)を使ってパソコンへ接続し、システムデータ、ファイルデータの転送(ダウンロード、アップロード)を行います。PCに接続する前に、PC側に専用ドライバをインストールする必要があります。
3	給電/データ通信端子	DT-X8へ電源を供給する端子です。またデータ通信にも使います。
4	ストッパー	DT-X8を固定します。

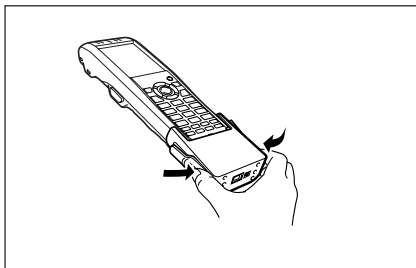
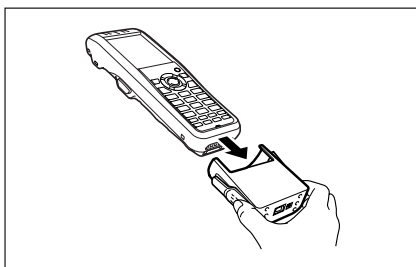
USB通信充電アダプタは、次の手順で本体に取り付けて使用します。

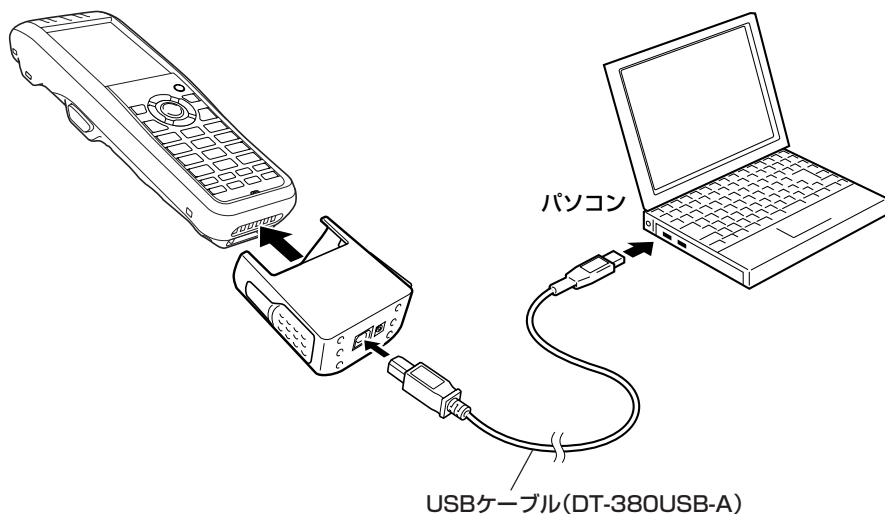
取り付け

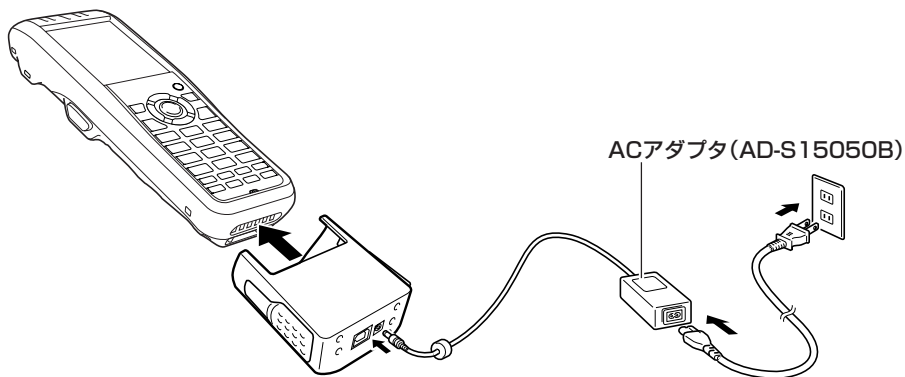
1 図のように本機の底部にUSB通信充電アダプタを差し込みます。

2 取り付け後は、ストッパーによって確実にロックされていることを確認してください。

使用上のご注意

- USB通信充電アダプタは取り付ける向きが決まっています。間違った向きで取り付けようとして無理に押し込んだりしないようにご注意ください。
- 本体やUSB通信充電アダプタの給電／データ通信端子は水などで濡らすと感電や発火の原因となり、また汚れていると接触が悪くなり充電機能が低下します。安全のためACアダプタやUSBケーブルを抜いてから、給電／データ通信端子を乾いた布や綿棒などで拭いて清掃してください。
- 結露などにより本体に水滴がついたときは、乾いた布などで十分に拭き取ってください。
- 本体やUSB通信充電アダプタの給電／データ通信端子は絶対にショートさせないでください。ショートさせると故障の原因となります。
- DT-X8にUSB通信充電アダプタを取り付けるときは、ハンドストラップは本体上部に取り付けてください。

取り外し

1 図のようにUSB通信充電アダプタの左右のストッパーを押してロックを外します。

2 ストッパーを押したままUSB通信充電アダプタを本機から抜き取ります。

パソコンとの接続

USBケーブル(DT-380USB-A)と組み合わせてパソコンと接続します。

充電のしかた

別売品のACアダプタ（AD-S15050B）と組み合わせてDT-X8に装着した充電池パックを充電することができます。充電状態はDT-X8のインジケータで確認します。

DT-X8のインジケータ1の表示

オレンジ色点灯：充電中

赤色点滅：　充電池パックの異常、充電可能温度でないため待機中
（充電可能温度になると充電開始）

緑色点灯：　充電完了

USB通信充電アダプタ(HA-K65US)の仕様

充電仕様：　充電方式：定電流電圧方式
充電時間：約3.5時間
(充電池パック(L)(HA-K21LBAT)/AD-S15050B)
約4時間
(充電池パック(XL)(HA-K23XLBAT)/AD-S15050B)
約6.5時間
(充電池パック(L)(HA-K21LBAT)/USB-PC接続時)
約8時間
(充電池パック(XL)(HA-K23XLBAT)/USB-PC接続時)

電源部：　使用電源：AD-S15050B
消費電流：DC5V 3.0A
本体(DT-X8)出力：DC5V 3.0A

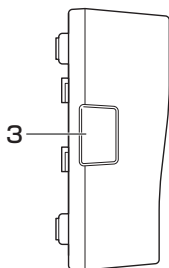
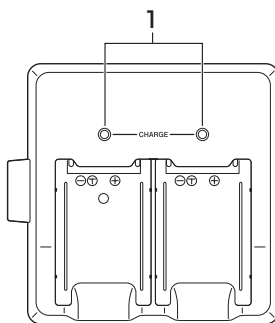
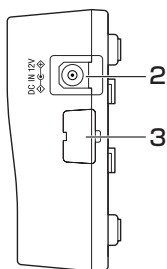
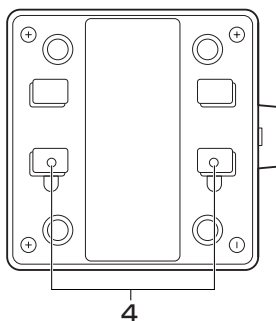
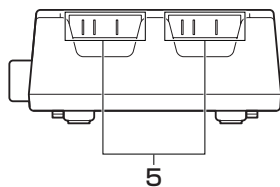
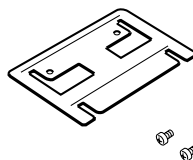
ACアダプタ仕様：
規格名：AD-S15050B
入力：AC100～240V　50/60Hz　0.36A～0.2A
出力：DC5V 3.0A

外形寸法・質量：
外形寸法：約64(幅)×45(奥行)×66(高さ)mm
質量：約57g

動作環境：　動作温度：0～40℃
動作湿度：10～90%RH(結露なきこと)

デュアル充電器(HA-F32DCHG)の取り扱い

別売のデュアル充電器(HA-F32DCHG)は、充電池パック2個を同時に充電することができます。

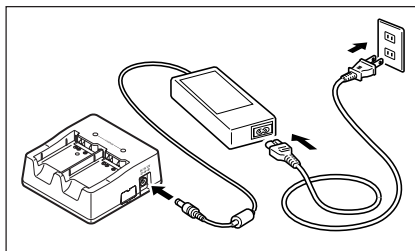
各部の名称とはたらき

1	充電表示用LED	充電池パックの充電状態を表します。 消灯： 充電しないとき 赤色点灯： 充電中 赤色点滅： 電池パックの異常 緑色点滅： 充電待ち状態 緑色点灯： 充電完了
2	AC アダプタジャック	AC アダプタ(別売)を接続して電源を供給します。
3	デュアル充電器接続用端子	デュアル充電器どうしの接続に使います。
4	接続用アタッチメント 取り付け部	デュアル充電器を2台以上接続する際に、接続用アタッチメントを取り付けます。
5	給電端子	充電池との接続端子です。

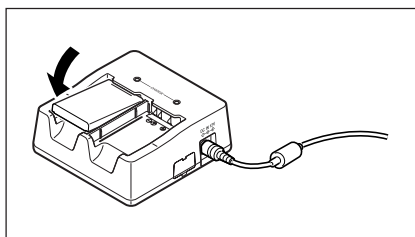
使用上のご注意

- 給電端子は水などで濡らすと感電や発火の原因となり、また汚れていると接触が悪くなり充電機能が低下します。安全のためAC アダプタを抜いてから、給電端子を乾いた布や綿棒などで拭いて清掃してください。
- 充電中に充電池が熱くなることがありますが、異常ではありません。
- 充電中は充電器の上にカバーをするなど物を乗せないでください。
- 充電中は充電池を外したりACアダプタを抜いたりしないでください。
- 充電池の着脱を何回も繰り返すと、充電池の劣化の原因となります。
- 接続用アタッチメントはデュアル充電器一台に一つ付属しています。
  複数のデュアル充電器を接続すると、接続用アタッチメントが一つ余ります。
  余った接続用アタッチメントは予備としてお使いください。

充電のしかた

デュアル充電器の電源は、別売のACアダプタ(AD-S42120B)を使用してください。

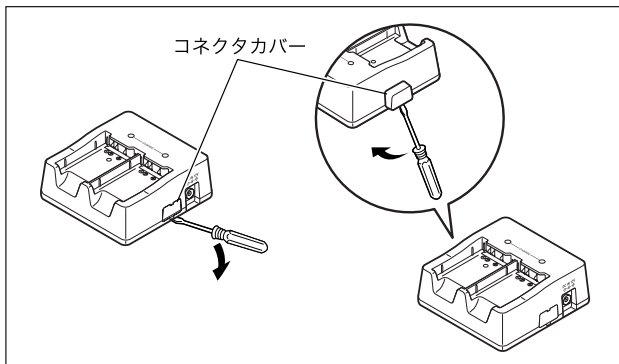
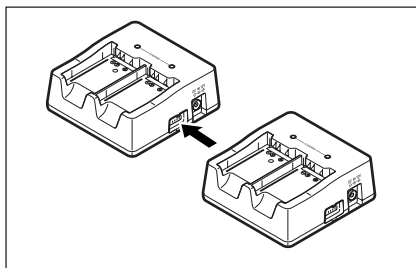
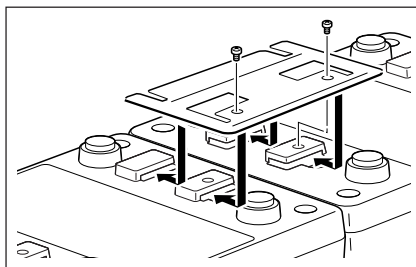
1 デュアル充電器のAC アダプタジャックにACアダプタのコネクタを差し込みます。

2 別売の専用AC アダプタのプラグをコンセントに接続します。

3 充電池パックの端子の方向に注意してデュアル充電器に取り付けます。
充電表示用LEDが、赤色に点灯して充電が開始されます

充電表示用LED の表示

消灯　　：充電しないとき
赤色点灯： 充電中
赤色点滅： 充電池パックの異常
緑色点灯： 充電完了
緑色点滅：充電可能温度(約0 ～ 40℃)でないため待機中(充電可能温度になると充電開始)

2台以上の接続

デュアル充電器を3台まで接続して、１つのACアダプタで使用することができます。

1 接続する側のコネクタカバーを取り外します。

2 デュアル充電器接続用コネクタを接続させます。

3 裏面に接続用アタッチメントを取り付け、ネジで固定します。
同様にして最大3台まで接続することができます。

デュアル充電器（HA-F32DCHG）の仕様

1. 充電仕様

充電方式	：定電圧定電流方式
充電時間	：1個を装着した場合 約3時間（充電池パック（L）（HA-K21LBAT）1個） 約4.5時間（充電池パック（XL）（HA-K23XLBAT）1個） 2個を同時に装着した場合 約3.5時間（充電池パック（L）（HA-K21LBAT）2個） 約5時間（充電池パック（XL）（HA-K23XLBAT）2個）

2. 電源部

使用電源	：AD-S42120B
消費電流	：DC12V 3.5A
出力	：DC4.2V 1.1A

3. ACアダプタ仕様

規格名	：AD-S42120B
入力	：AC100-240V 50/60Hz 1.2A
出力	：DC12V 3.5A

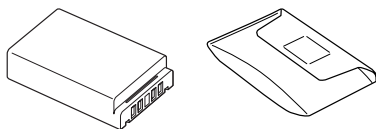
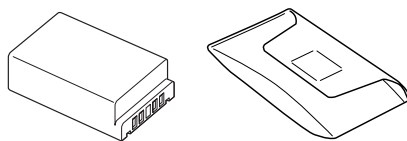
4. 外形寸法・質量

外形寸法	：約108（幅）×104（奥行）×45（高さ）mm
質量	：約152g

5. 動作環境

動作温度	：0～ 40℃
動作湿度	：30～ 80% RH（結露なきこと）

■ 充電池パック(HA-K21LBAT/HA-K23XLBAT)の取り扱い

HA-K21LBAT
（充電池パック（L））

HA-K23XLBAT
（充電池パック（XL））

本機は、ご使用時間やご使用環境（オプションの使用など）に応じ、2種類の容量の充電池パックを用意しております。
充電池パック（L）をご使用になる場合は、同梱の充電池パック（L）専用のカバーに交換してください。

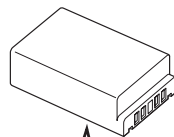
使用上のご注意

- **充電池パックを本体から外して保管するときは、必ず専用のソフトケースに入れてください。**
- **充電池パックを長期間使用されない場合、自然放電や充電池パックの自己消費により使用できる容量が低下します。この充電池パックを満充電にしても使用時間等の性能が満足できない場合は、寿命と思われますので、新しいものと交換してください。**

充電池パック（L）（HA-K21LBAT）の仕様

型式：　HA-K21LBAT
公称容量：　1840mAh
公称電圧：　3.7V
外形寸法：　約幅36.15×奥行き55.40×高さ14.0mm
質量：　約44g
付属品：　ソフトケース

充電池パック（XL）（HA-K23XLBAT）の仕様

型式：　HA-K23XLBAT
公称容量：　2860mAh
公称電圧：　3.7V
外形寸法：　約幅36.15×奥行き55.40×高さ18.10mm
質量：　約65g
付属品：　ソフトケース

修理に関する窓口

カシオ製品のアフターサービス業務は、カシオテクノ株式会社が担当いたします。

修理の相談窓口

●修理依頼前の故障・修理・機能に関するご質問に電話でお答えします。

情報機器コールセンター

0570-022066

市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間：月曜日～土曜日
AM9:00 ～ PM5:30
（日・祝日、年末年始、夏期休暇は除く）

携帯電話・PHS・IP電話等をご利用の場合、048-233-7241にお掛けください。

修理品受付窓口

●修理依頼後の返却予定日、修理料金、故障内容などの問い合わせにつきましては下記窓口にお問い合わせください。

PAリペアセンター

0570-011330

市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間：月曜日～金曜日
AM9:00 ～ PM5:30
（土・日・祝日、年末年始、夏期休暇は除く）

住　　所：〒405-0075
山梨県笛吹市一宮町東原911-3
甲府カシオ一宮事業所

携帯電話・PHS・IP電話等をご利用の場合、055-347-7211にお掛けください。

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2
☎03-5334-4638(代)